

令和3年（2021年）3月27日

「地域コミュニティ」を考えるシンポジウム  
～みんなで知って考えよう地域コミュニティの「いま」と「未来」～

# 町内会・自治会等実態調査結果の 報告及び考察について

広島市企画総務局コミュニティ再生課長

中谷 満美子

# 広島市の地域コミュニティの現状

# 1. 広島市の地域団体

## 主な地域団体

### 16種類、約6,300団体

➤ 地域住民を主な構成員とし、かつ、小学校区以下を活動範囲とする団体

#### <主な地域団体>

① **地縁型**：一定の地域に居住する人々による団体

町内会・自治会

② **属性型**：ある同一の特徴を持っている地域住民による団体

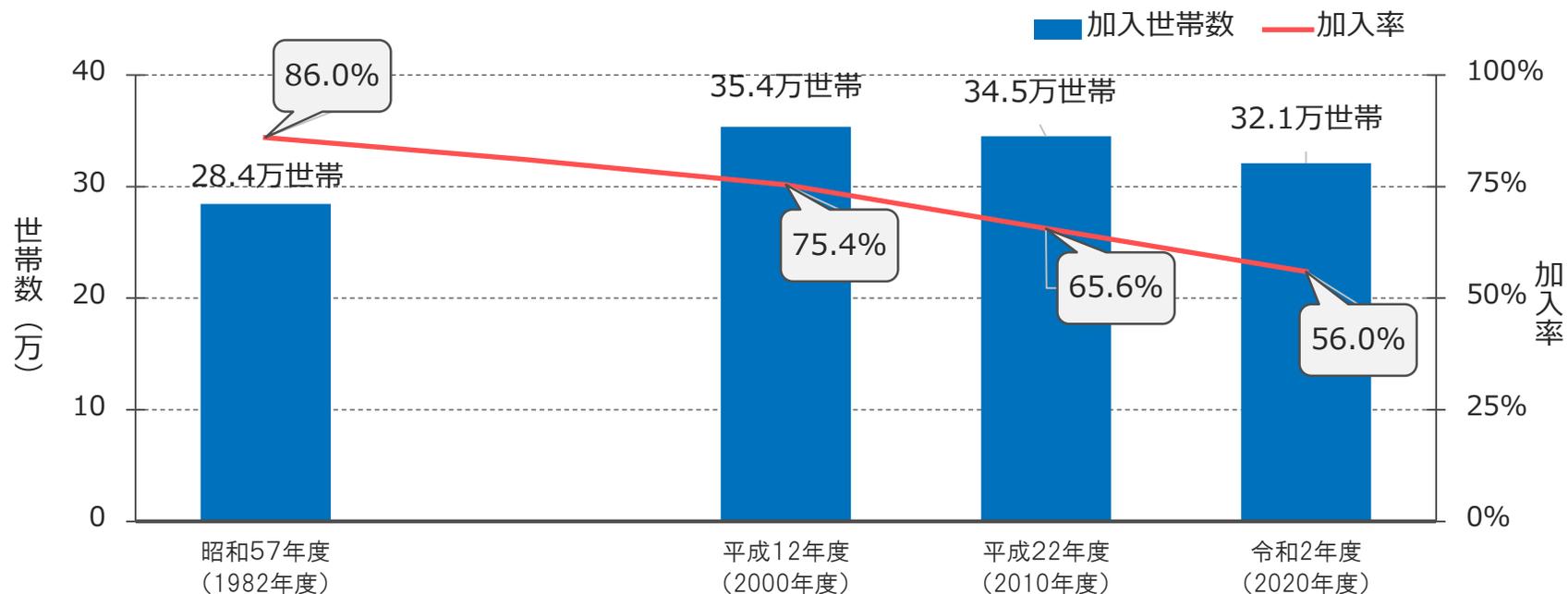
女性会、老人クラブ、母子寡婦福祉会、子ども会、  
地域活動連絡協議会（母親クラブ）

③ **目的型**：ある一定の目標の下に集まり活動する団体

自主防災組織、防犯組合、体育協会、地区社会福祉協議会、  
民生委員児童委員協議会、献血推進協議会、  
公衆衛生推進協議会、交通安全運動推進隊、  
青少年健全育成連絡協議会、PTA

## 2. 地域団体の現状

### 町内会・自治会の加入世帯数・加入率の推移



- 町内会・自治会加入率は、政令市移行後（調査開始：昭和57年度）毎年低下
- 過去20年間は毎年約1%低下。令和2年度は56.0%

「関わる意思を示す人」が減少 ⇒ 地域コミュニティの衰退

(資料) 広島市の町内会・自治会の組織状況

### 3. 地域コミュニティの衰退要因

---

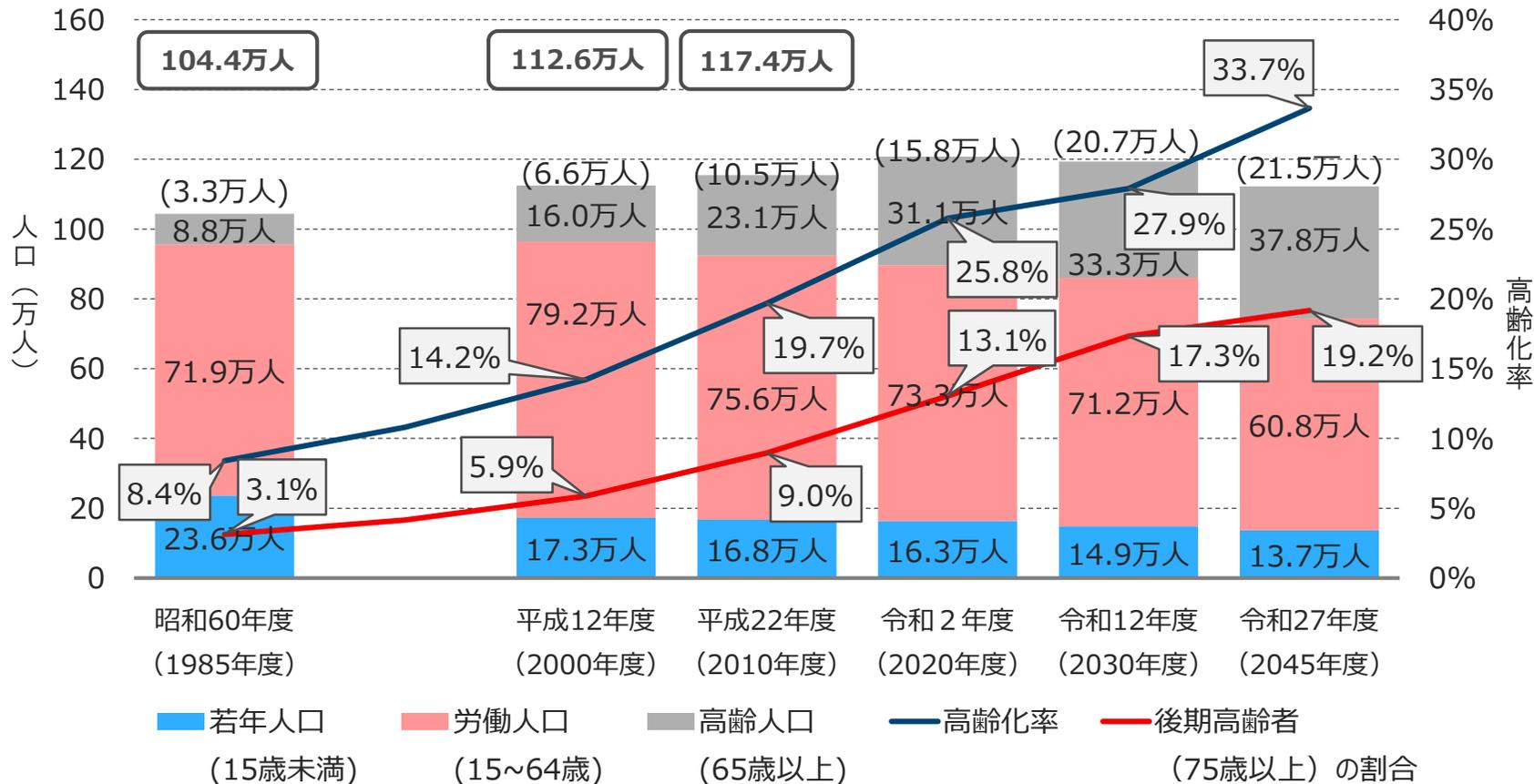
① 少子高齢化

② 家族単位の縮小  
(単身世帯の増加)

③ 労働環境の変化

④ 生活環境の変化

# ① 少子高齢化



- 高齢者化率（65歳以上）は過去20年で2倍増。特に後期高齢者（75歳以上）の伸率が高い。  
 ※要介護（支援）認定率は75歳以上で高くなる傾向。本市の平均健康寿命は男性70歳、女性72歳。
- 若年人口（14歳以下）も減少の一途。増加の見込みなし。

(注) カッコ内の数値は後期高齢者の人数、1985年度、2000年度の数値には湯来町を含まない。  
 (資料) 国勢調査、2020年度以降は社人研推計人口

## 地域コミュニティに及ぼす影響

①生産年齢人口減少、定年延長の加速

- 地域活動の主戦力と期待される60代の参画が得られにくい。

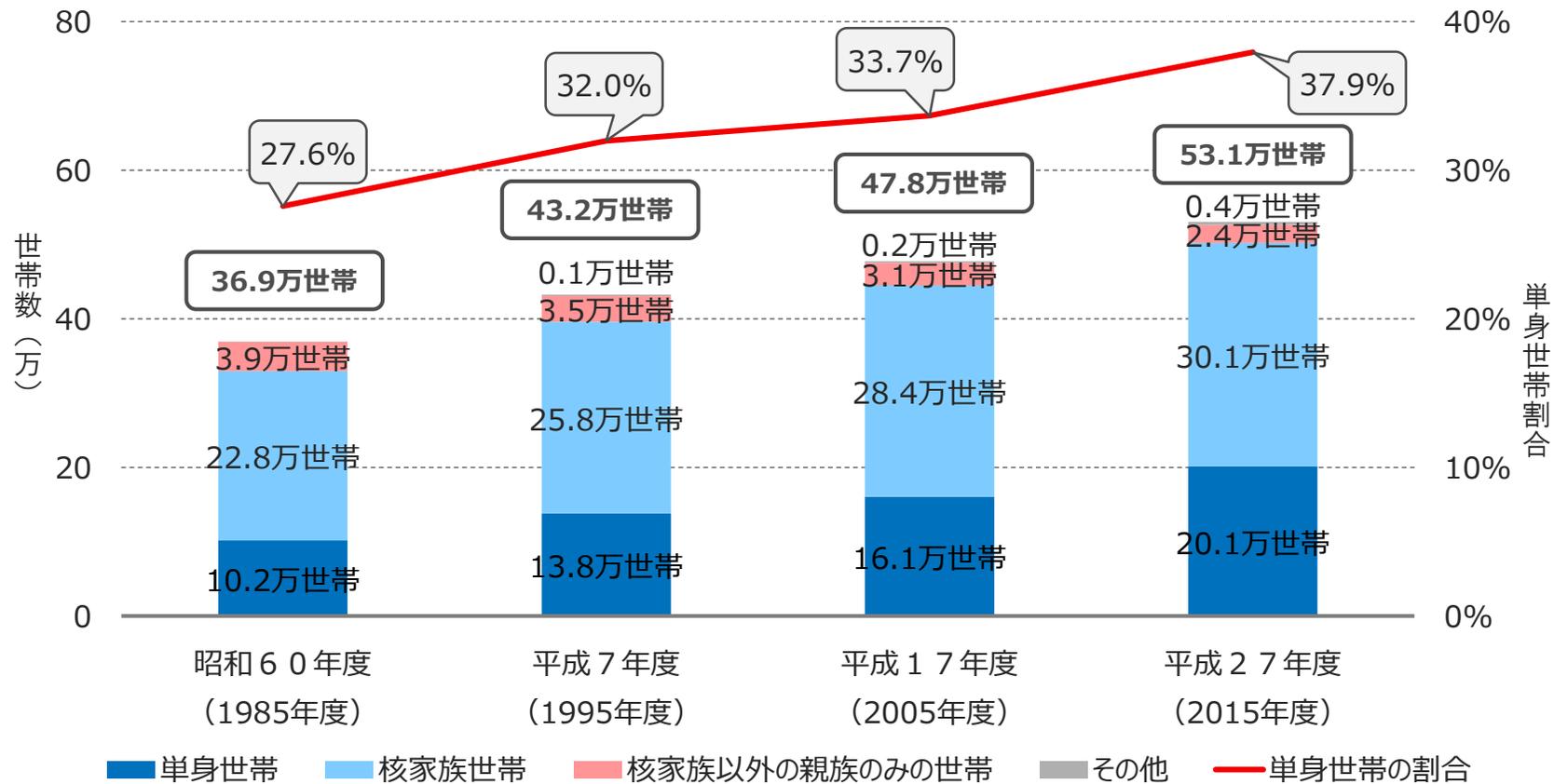
②子どものための地域活動の減少

- 親世代の参画が進まず、次世代の担い手育成が困難に。

③「支えられる側」になりやすい75歳以上の高齢者の大幅増加

- 「支える側（担い手）」の負担増加
- 高齢者の脱退・不参加が進み、活動資金や活動回数・内容が減少

## ②家族単位の縮小（単身世帯の増加）



- 単身世帯は過去30年で2倍に増加。三世代以上の世帯は減少し核家族化が進行。
- 単身世帯の地域活動への参画、地域とのつながりが「強い」と感じる率は低い傾向。  
(広島市市民意識調査)

(資料) 国勢調査

## ②家族単位の縮小（単身世帯の増加）

### 地域コミュニティに及ぼす影響

①家族内での世代間の情報交換、  
地域活動参加のきっかけの減少

• 地域活動への参画機会喪失

②地域に知っている人がいない。  
（特に賃貸アパートなど）  
参加意欲が湧かない。

• 自らが住む地域への愛着が生まれず帰属意識が育たない。

③これまでのような家庭内での  
生活課題解決、支え合いが  
できない。

• 生活課題の表面化、深刻化

### ③ライフスタイル（労働環境）の変化

#### ● 共働きの増加

共働き世帯数（広島市）	昭和60年 29.2%（7.0万世帯）	▶▶▶	平成27年 37.6%（10.4万世帯）
専業主婦の世帯数（広島市）	昭和60年 47.7%（11.4万世帯）	▶▶▶	平成27年 27.6%（7.6万世帯）

（資料：国勢調査）

#### ● 勤務時間の多様化

深夜勤務従事の雇用者割合（全国）	平成9年 13.3%	▶▶▶	平成24年 21.8%
有業者の曜日別行動率（全国）※日曜日出勤者	昭和61年 17.9%	▶▶▶	平成28年 21.3%

（資料：労働安全衛生特別調査 厚生労働省）  
（資料：社会生活基本調査 総務省）

#### ● 自営業者の減少

就業者に占める自営業者の割合（広島市）	昭和55年 13.4%	▶▶▶	平成27年 7.4%
---------------------	-------------	-----	------------

（資料：国勢調査）

#### ● 定年の延長

60歳以上の労働者数（広島市）	昭和55年 3.7万人	▶▶▶	平成27年 10.8万人
-----------------	-------------	-----	--------------

（資料：国勢調査）

- 労働環境における様々な社会的要因（女性の社会進出、サービス業への従事者増加、多様な勤務形態、高年齢者の就業促進など）が、家庭生活や地域社会での生活に複合的に影響

### ③ライフスタイル（労働環境）の変化

## 地域コミュニティに及ぼす影響

①専業主婦層の減少、比較的若い高齢者層の就労継続

- 地域コミュニティの主な支え手だった生活時間に余裕のある 人材が減少

②就業者の休日・勤務時間の多様化

- 地域の行事等に 物理的に参加できない住民が増加
- ライフスタイルと地域活動が乖離

③自営業者の減少

- 職業上、 地域との関わりの強い層が減少

地域活動に参加・協力する時間や、時間を割く意欲が喪失

## ④ ライフスタイル（生活環境）の変化

### ● ソーシャルメディアの発展

オンラインコミュニティ（SNS、メール、電子掲示板等）のみ参加している者の割合（全国）

平成20年 16.3%  平成29年 44.1%

※オフラインコミュニティ（町内会・自治会、ボランティア団体、学習グループ等）は不参加

（資料：平成30年度版 情報通信白書 総務省）

### ● 余暇時間の活用

1週間の生活時間の増減（全国）

休養、趣味・娯楽、学習、スポーツ 昭和51年 104分  平成28年 165分

ボランティア・社会参加活動、付き合い 昭和51年 32分  平成28年 21分

（資料：社会生活基本調査 総務省）

### ● 居住環境の変化

共同住宅に住む世帯数の割合（広島市）

昭和60年 41.7%  平成27年 55.8%

（資料：国勢調査）

### ● 近隣との関係

近隣と「相談したり助け合えるようなつきあい」を望む人（全国）

昭和48年 34.5%  平成30年 18.6%

（資料：第10回「日本人の意識」調査(2018)NHK）

- 生活環境における様々な技術的・社会的要因（都市生活・就労に合致した環境整備、ソーシャルメディアの発展など）が、人々の意識や生活に複合的に影響

## ④ライフスタイル（生活環境）の変化

### 地域コミュニティに及ぼす影響

#### 【居住環境の充実】

- ① 「職」と「住」が分離され、多くの就労者にとって「寝に帰る」場所に
- ② 密室性が高い住宅（マンション等）の増加
- ③ 気軽に集いにくい都市環境（“井戸端会議”的な集いが難しい）

①~③

- 人と人との繋がりが生まれにくい生活環境

#### 【サービス意識の変化】

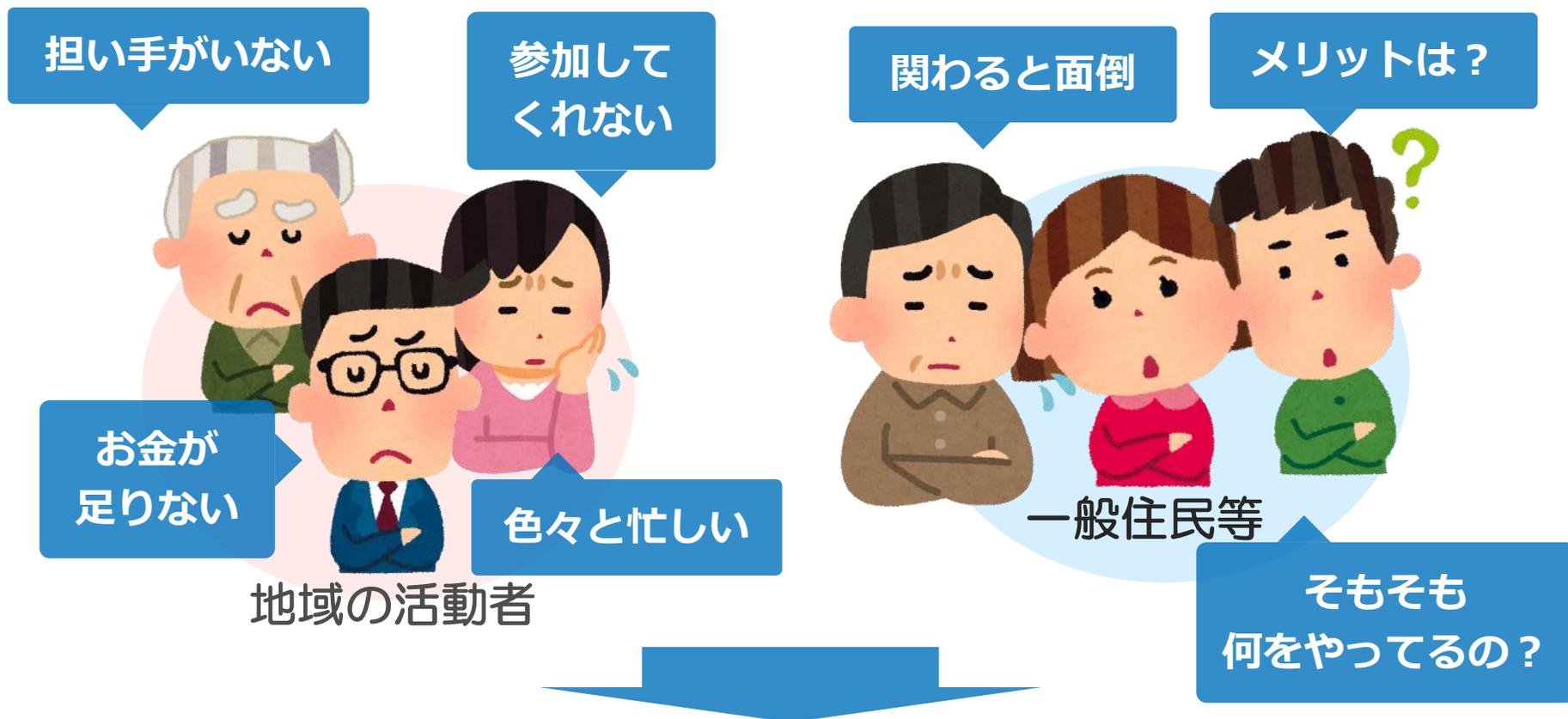
- ④ 新しいコミュニケーション方法の出現（SNS等）
- ⑤ プライバシー意識の高まり
- ⑥ 行政・民間サービスが充実し、地域が担う互助的役割を代行

④~⑥

- 近所の付き合いを避けても生活可能
- 個人の趣味嗜好を優先した行動

地域活動の動機・意欲が減少

# 地域コミュニティには様々な問題がある と言われているが、実際はどうか？



**実態を調査してみよう！**

## 町内会・自治会等実態調査の結果

# 1. 調査概要

## 調査期間

令和2年8月～令和3年2月

## 調査方法

町内会実態調査	対象者・ 標本数	質問内容等	回収率
① 町内会・自治会長アンケート	1,918団体	担当地域の現状と課題、団体の運営に関する事 など【51項目】	76.0%
② 地域団体としたアンケート (地区社協会長、連合町内会長など)	217団体	担当地域の現状と課題、団体の運営に関する事 など【66項目】	89.4%
③ 地域団体へのヒアリング調査	14団体	団体の運営や課題、その解決のための対策など	—
④ 町内会・自治会が解散した地域への ヒアリング調査	3団体	解散後の地域の現状、地域の課題解決の方法 など	—

市民意識調査	対象者・ 標本数	質問内容等	回収率
① 市民アンケート (町内会結成区域)	6,000名	地域の現状や課題に対する意識、地域団体・ 地域活動に対する意識 など【42項目】	41.9%
② 市民アンケート (町内会未結成区域)	1,000名	地域の現状や課題に対する意識、地域団体・ 地域活動に対する意識 など【29項目】	43.9%

【目的】地域団体と市民の皆様の双方から、地域コミュニティへの「思い」や「意見」をお聞きし、活性化の方策を検討する際の基礎資料として使用します。

# 地域団体・町内会アンケート結果

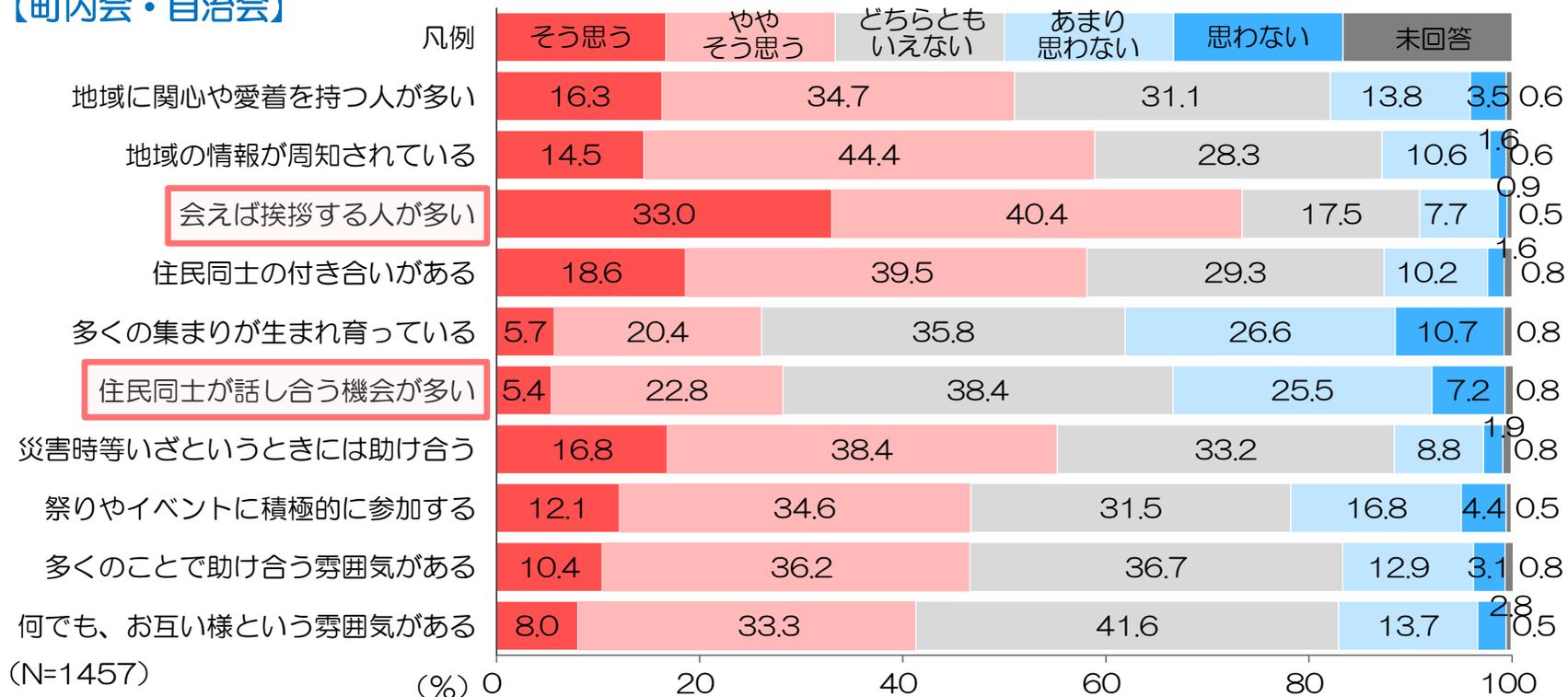
## 2.調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ① 区域の状況

地域住民の付き合い方

#### 【町内会・自治会】



➤ 「会えば挨拶する人が多い」など、比較的軽い付き合いが多く、「住民同士が話し合う機会が多い」など、比較的深い付き合いは少ない。

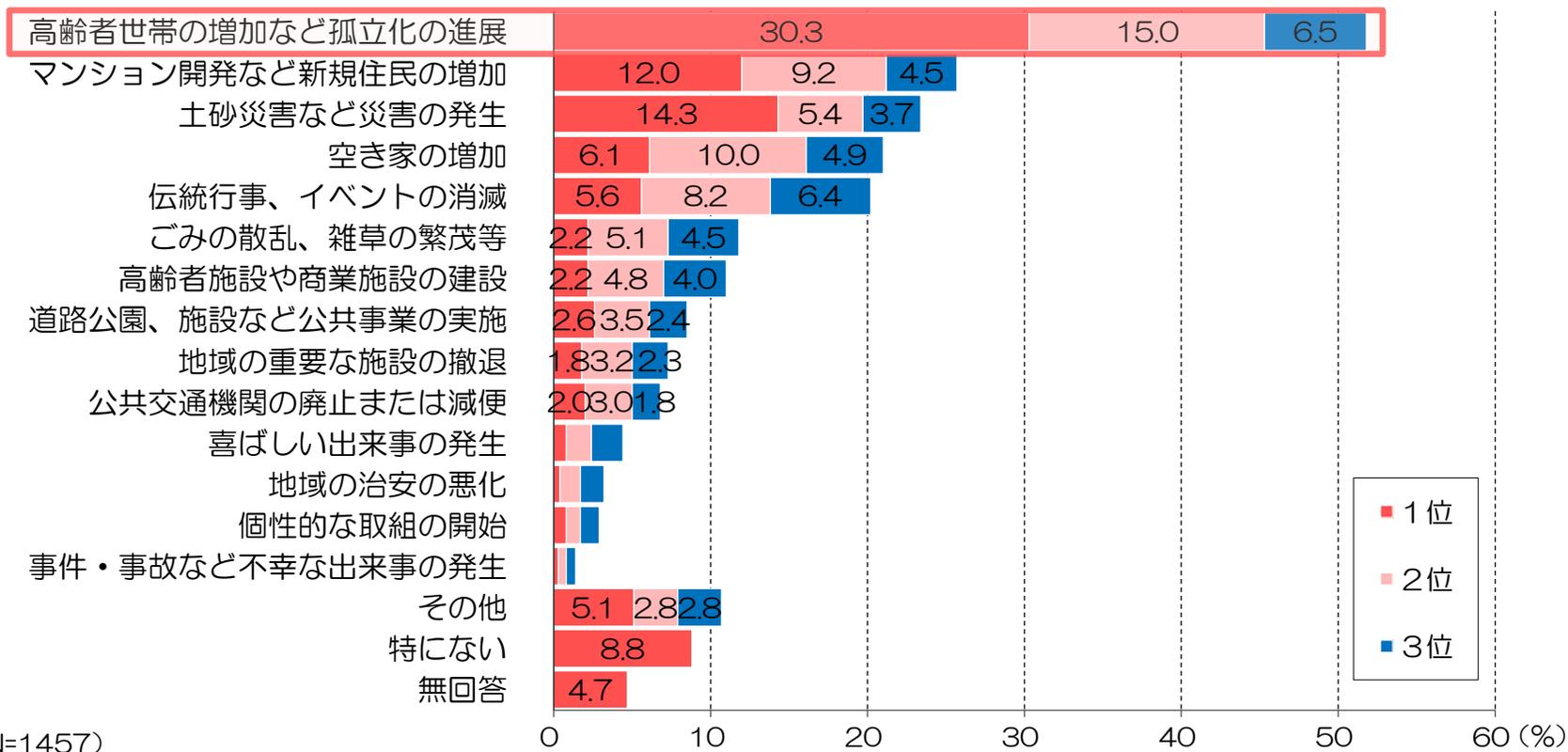
## 2. 調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ① 区域の状況

過去10年間にあった大きな現象

#### 【町内会・自治会】



(N=1457)

➤ 過去10年間の現象として「高齢化等による住民の孤立化」が多い。

## 2.調査結果（ポイント）

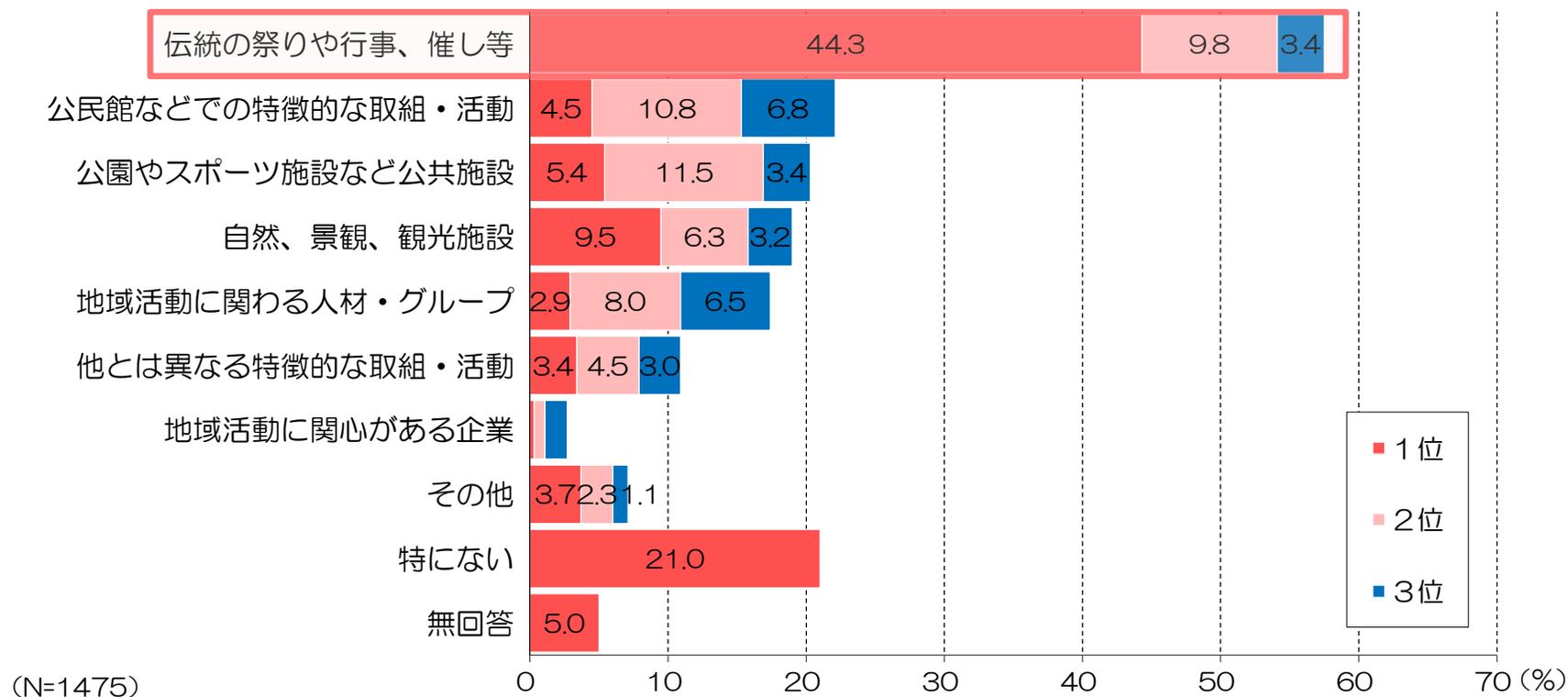
### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

予備

#### ① 区域の状況

町内会・自治会の区域で自慢できるもの

##### 【町内会・自治会】



➤ 地域の自慢「伝統の祭りや行事、催し等」が多い。

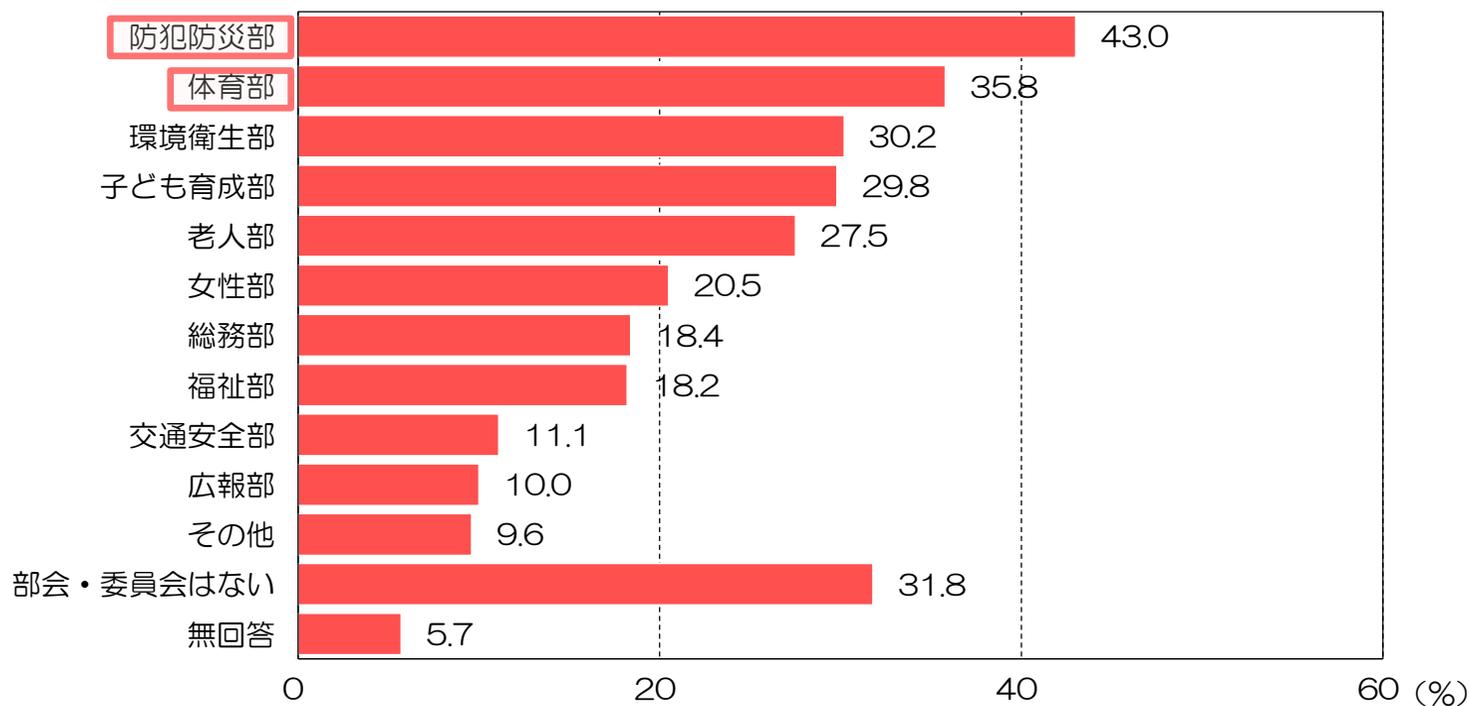
## 2. 調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ② 組織の現状・運営状況

##### 部会や委員会の設置状況

【町内会・自治会】

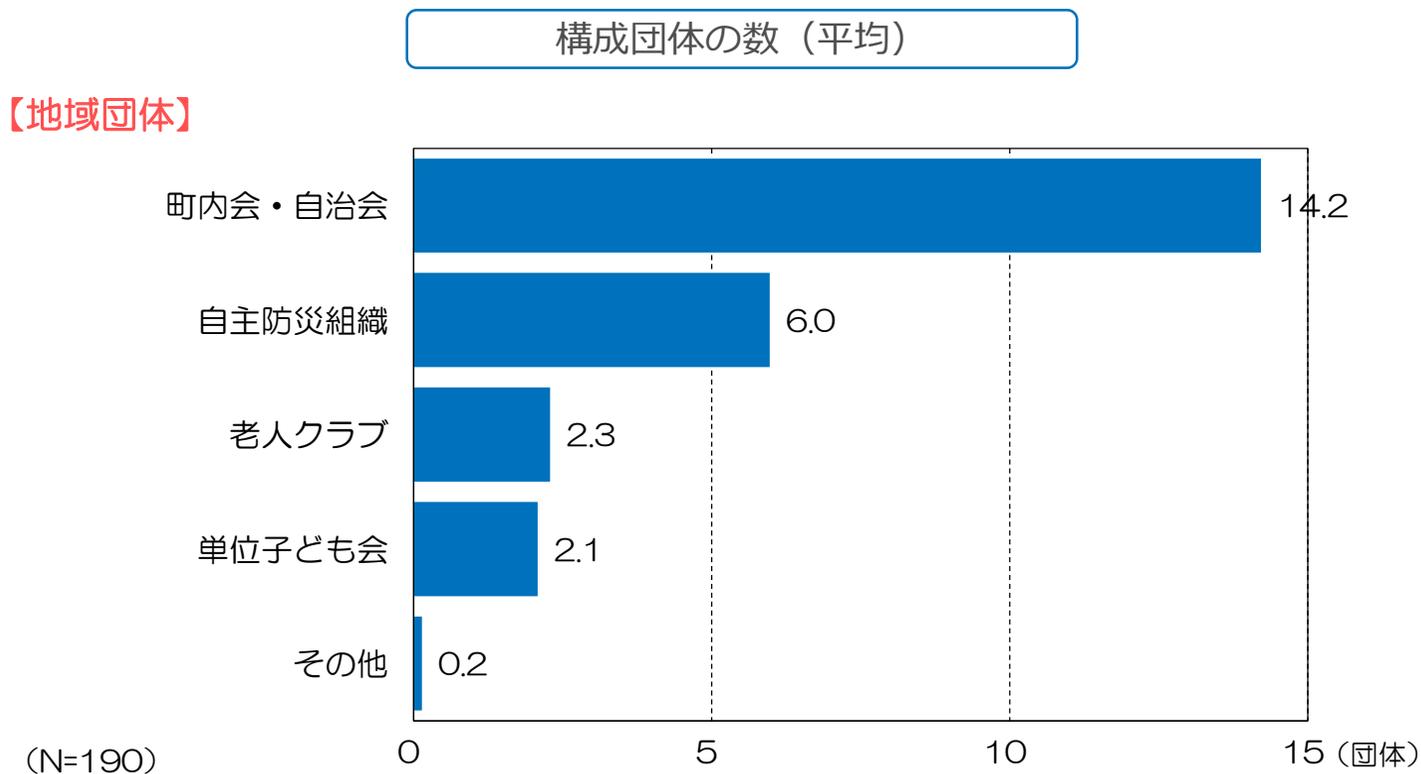


➤ 「防犯防災部」や「体育部」の設置が多い。平均部会数は4部会

## 2.調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ② 組織の現状・運営状況



- 構成団体における町内会・自治会の数は平均14団体。
- また、各種団体（青少協、公衛協、体協、学区子ども会等）の数は、平均14団体。

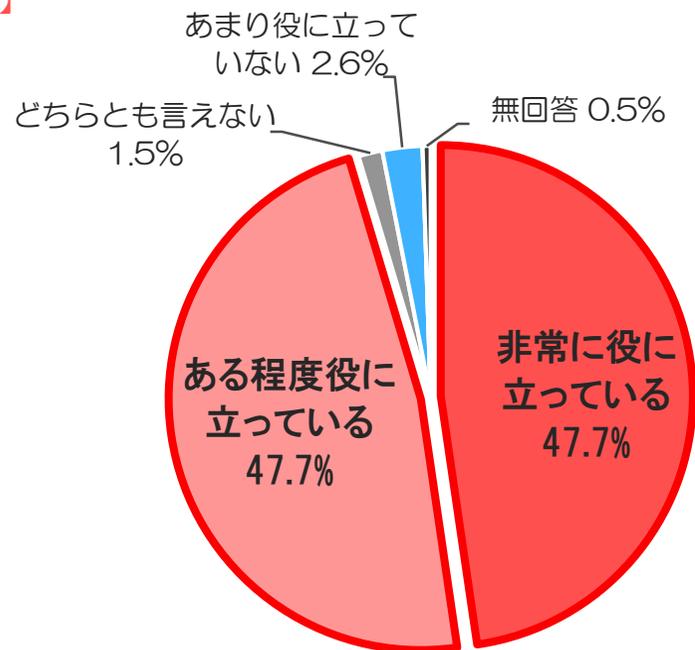
## 2.調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ② 組織の現状・運営状況

役員会等の会合が団体間の情報共有や連携に役立つか

【地域団体】



➤ 「非常に役に立っている」「ある程度役に立っている」が95%を占めている。

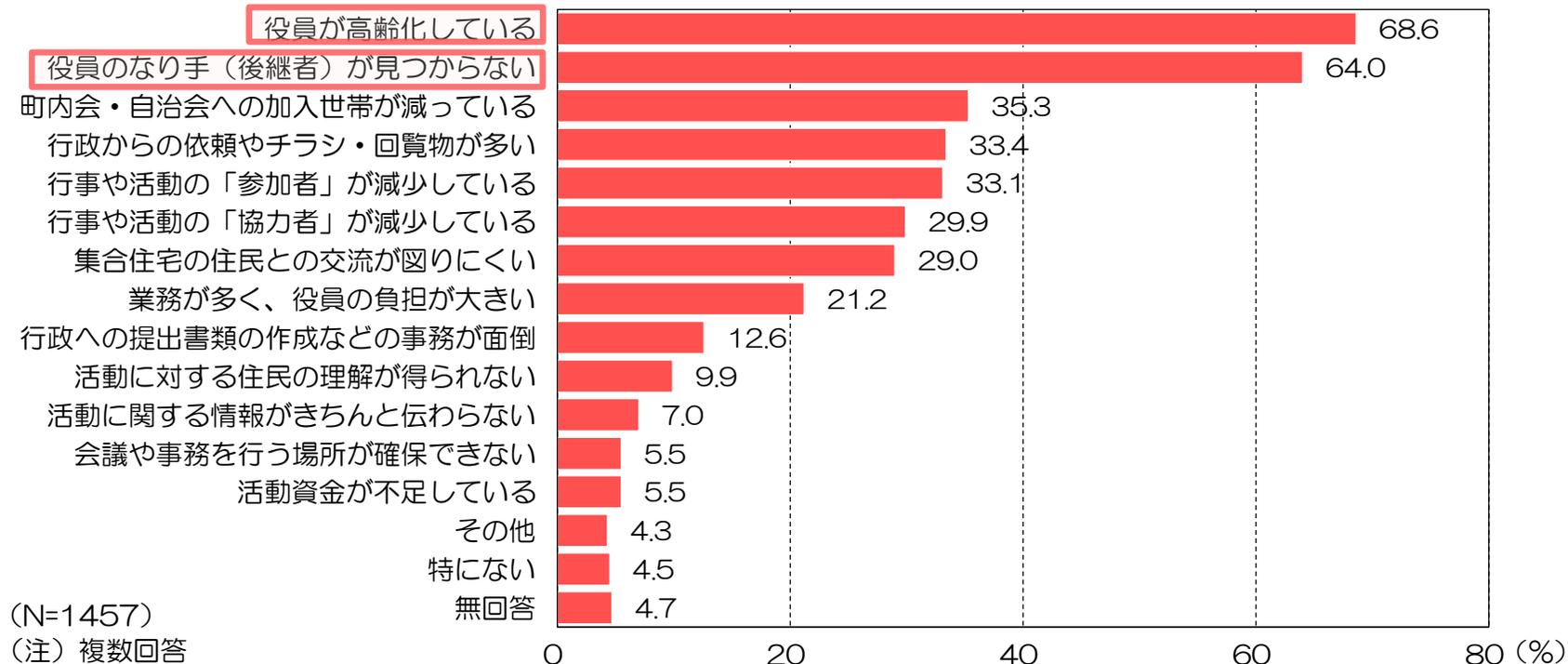
## 2.調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ② 組織の現状・運営状況

運営する上で困っていること

##### 【町内会・自治会】



➤ 町内会の運営上の課題は「役員の高齢化」「後継者不足」。(地域団体も「役員の高齢化」)

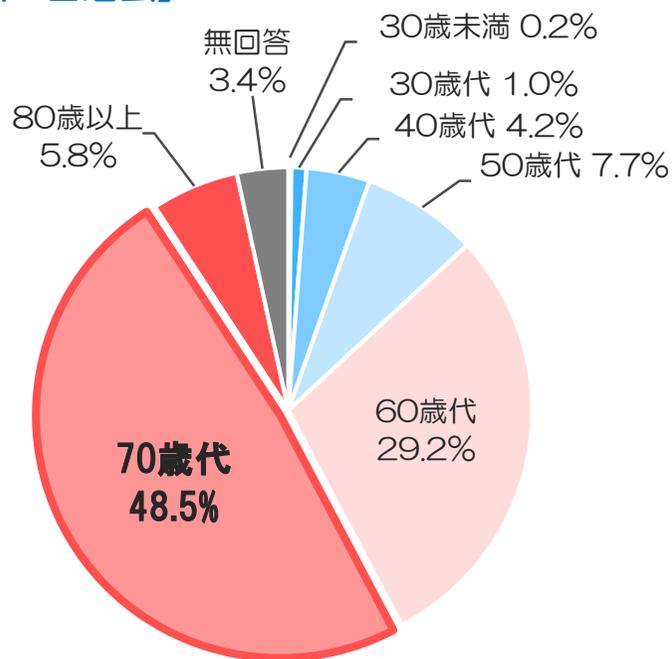
## 2. 調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ③ 担い手の状況

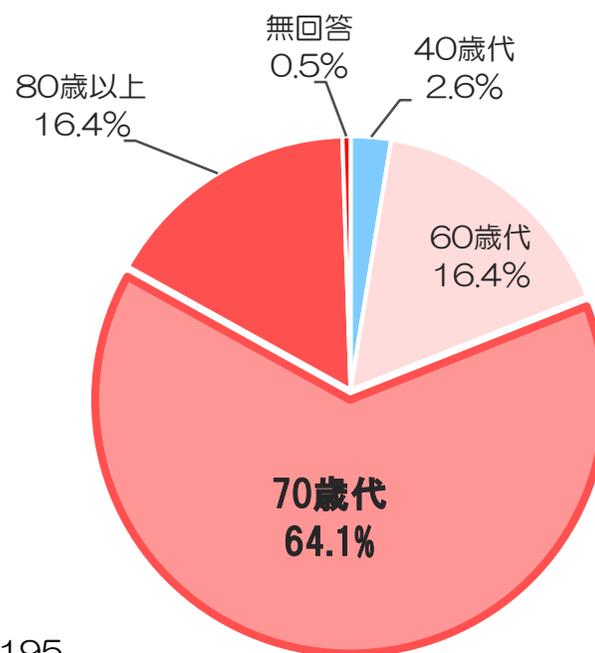
会長の年齢

【町内会・自治会】



N=1457

【地域団体】



N=195

- 町内会長の年齢は70代以上が5割、50代以下は1割程度。役員の年齢構成も同様の傾向。地域団体は70代以上が8割と、より年齢が高い。

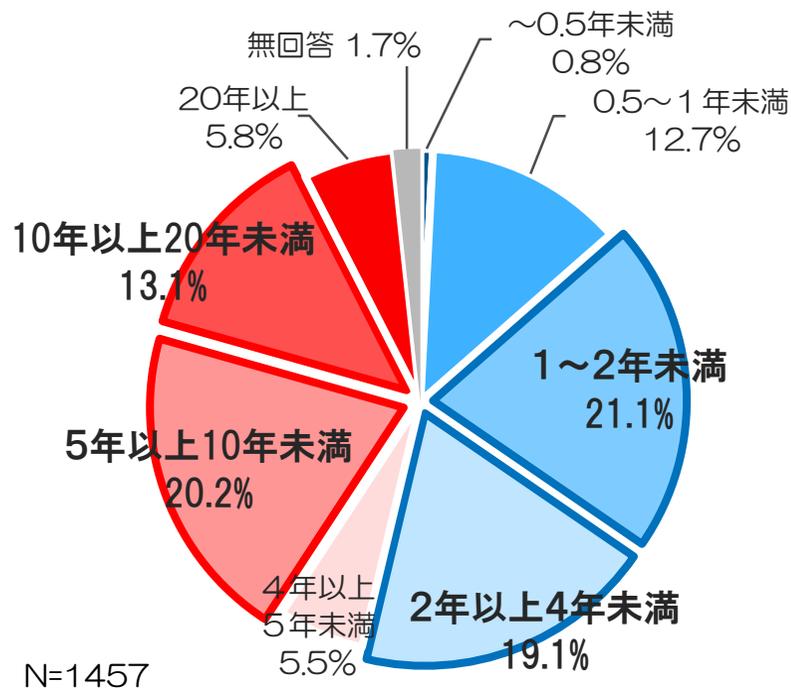
## 2. 調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

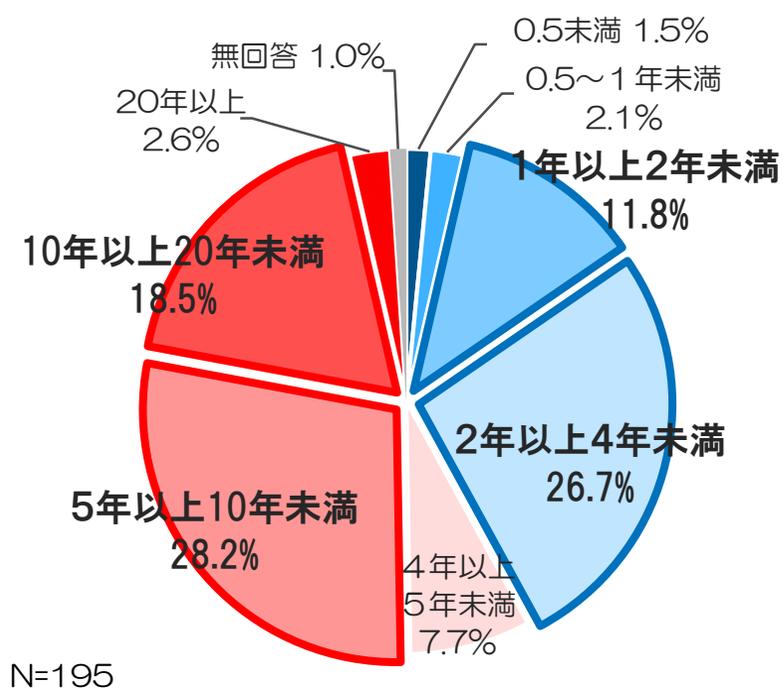
#### ③ 担い手の状況

会長の就任年数

【町内会・自治会】



【地域団体】



➤ 町内会長の就任年数は「1~4年」と「5年以上」に二極分化。地域団体はより就任年数が長い。

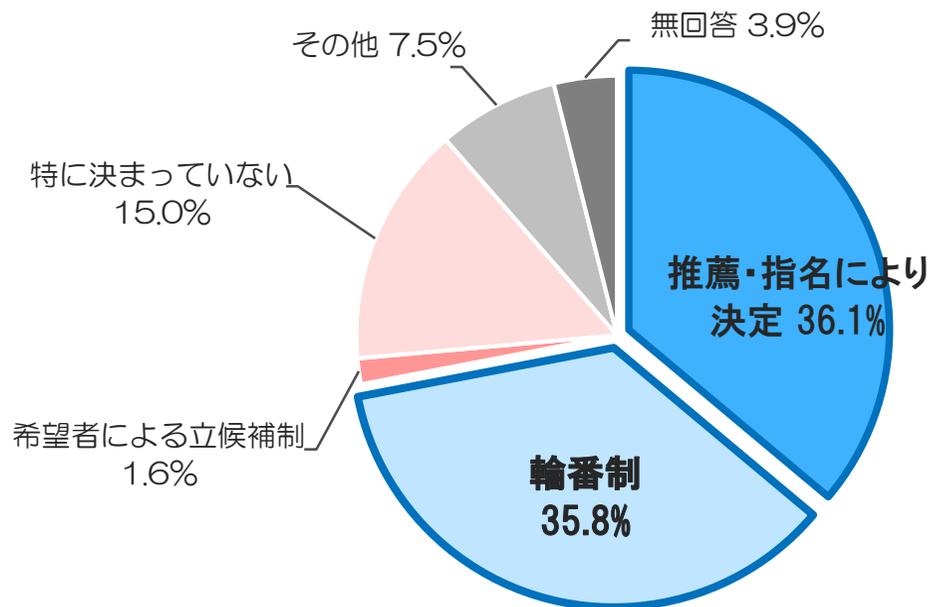
## 2.調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ③ 担い手の状況

役員の決定方法

【町内会・自治会】



N=1457

➤ 「推薦・指名」と「輪番制」に2極分化している。

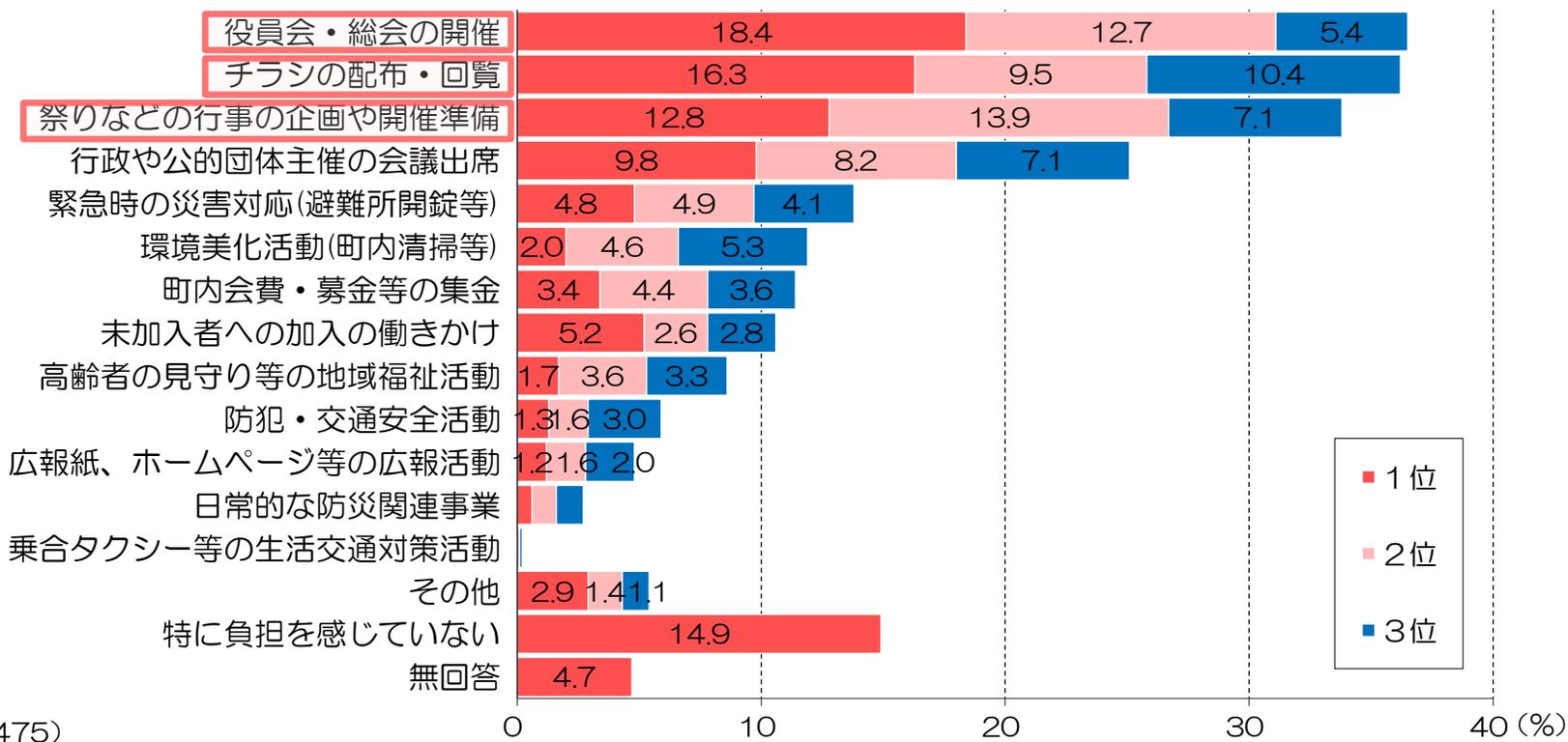
## 2. 調査結果 (ポイント)

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ③ 担い手の状況

##### 負担に感じる業務

##### 【町内会・自治会】



(N=1475)

➤ 負担に感じる業務。町内会は「会議開催準備」「チラシの配布・回覧」の順。

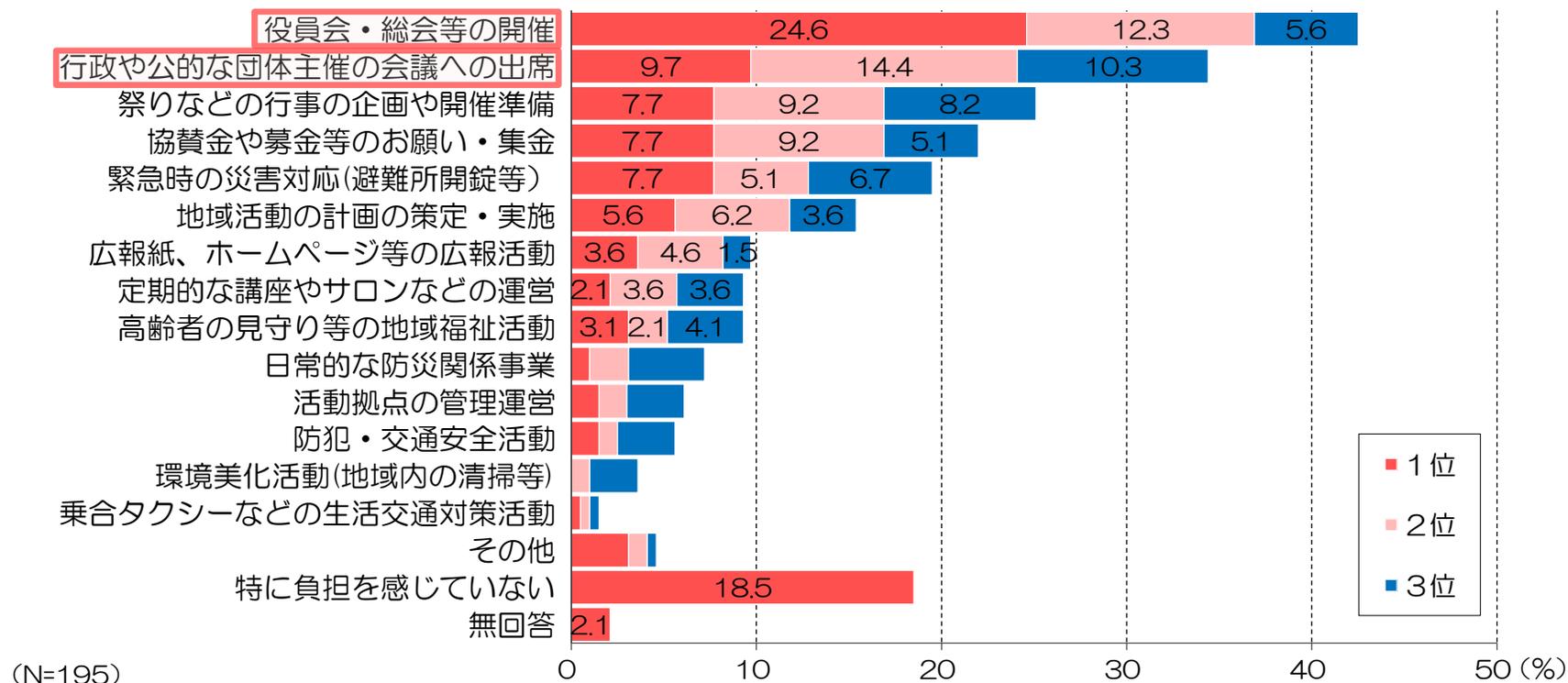
## 2. 調査結果 (ポイント)

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ③ 担い手の状況

##### 負担に感じる業務

##### 【地域団体】



➤ 負担に感じる業務。地域団体は「会議開催準備」の次に「行政などの会議出席」。

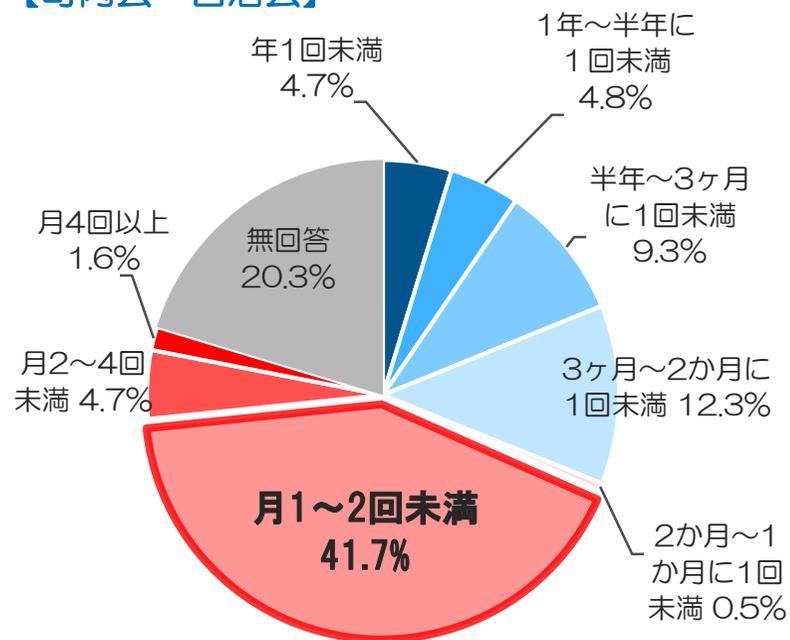
## 2. 調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ③ 担い手の状況

会合の開催頻度

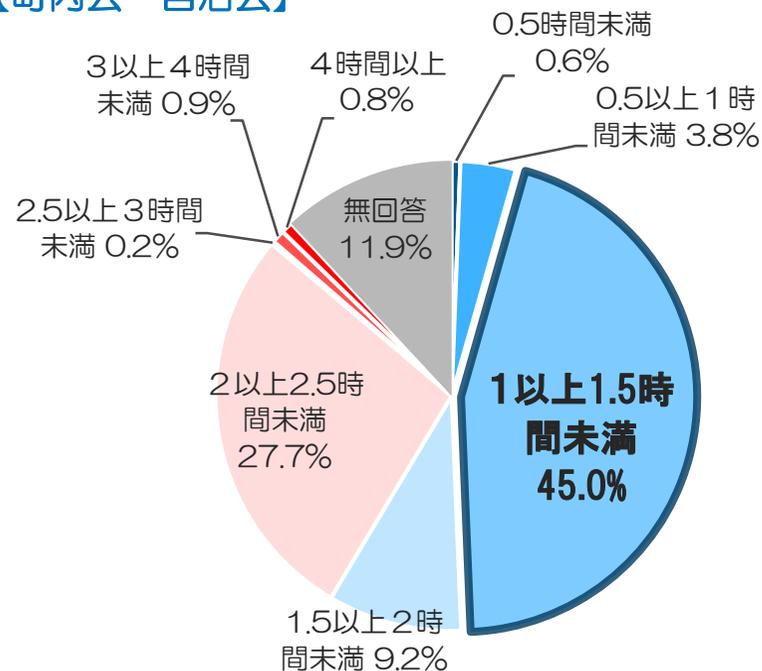
【町内会・自治会】



N=1457

1回あたり所用時間

【町内会・自治会】



N=1457

➤ 町内会では、会議の開催は月1～2回、所要時間は1回あたり1～1時間半がそれぞれ4割強。

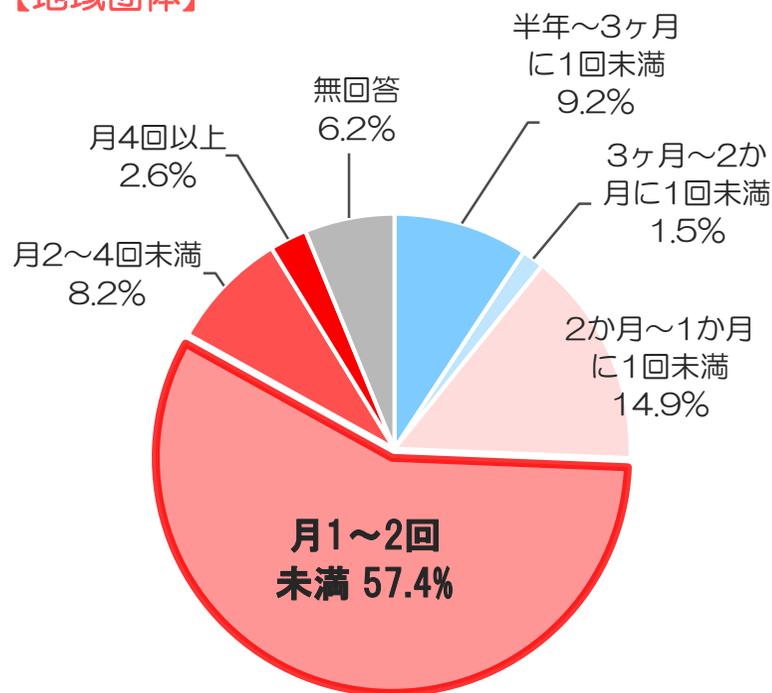
## 2. 調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ③ 担い手の状況

会合の開催頻度

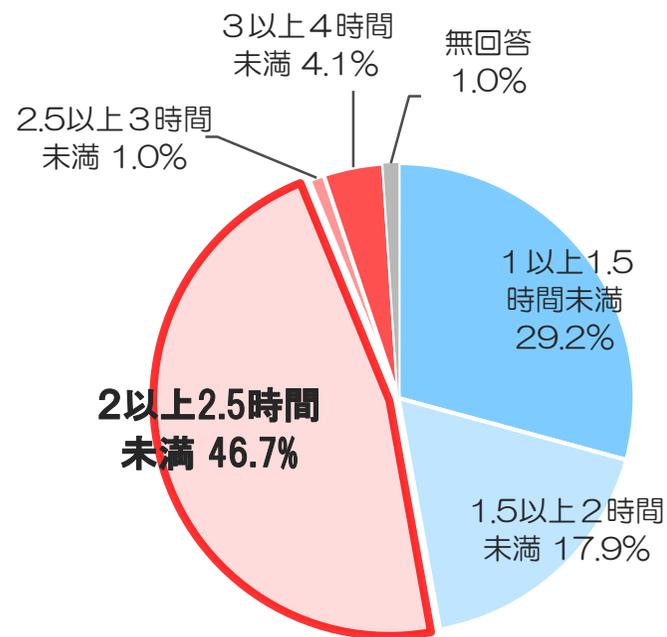
【地域団体】



N=195

1回あたり所用時間

【地域団体】



N=195

➤ 地域団体の会議の開催は月1～2回が6割弱、所要時間は1回あたり2～2時間半が5割弱。

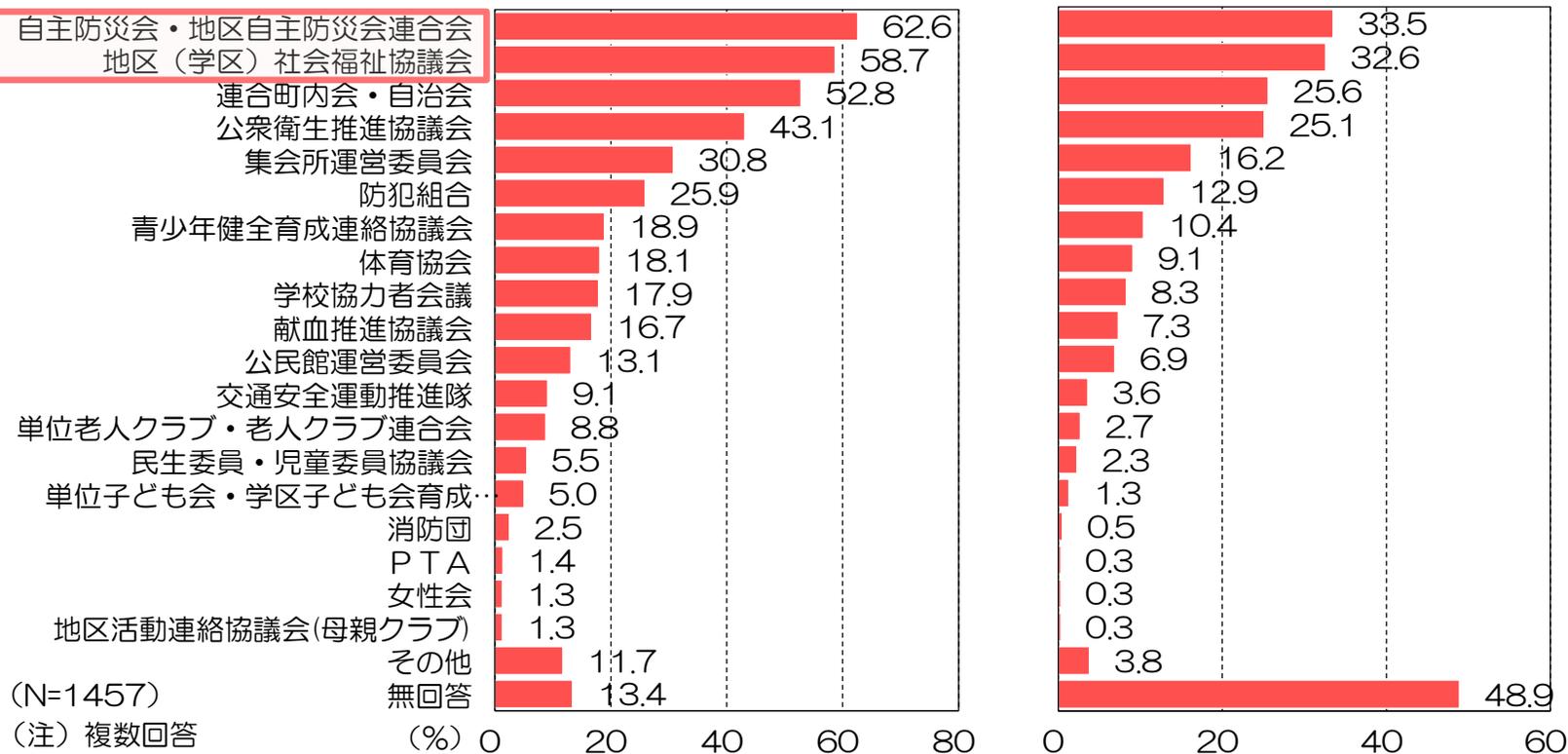
## 2.調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ③ 担い手の状況

##### 兼任している地域団体の役員

##### 【町内会・自治会】



➤ 町内会長は自主防災組織、地区社協との兼任が多い。兼任数の平均は4.7役、うち充て職は4.0役

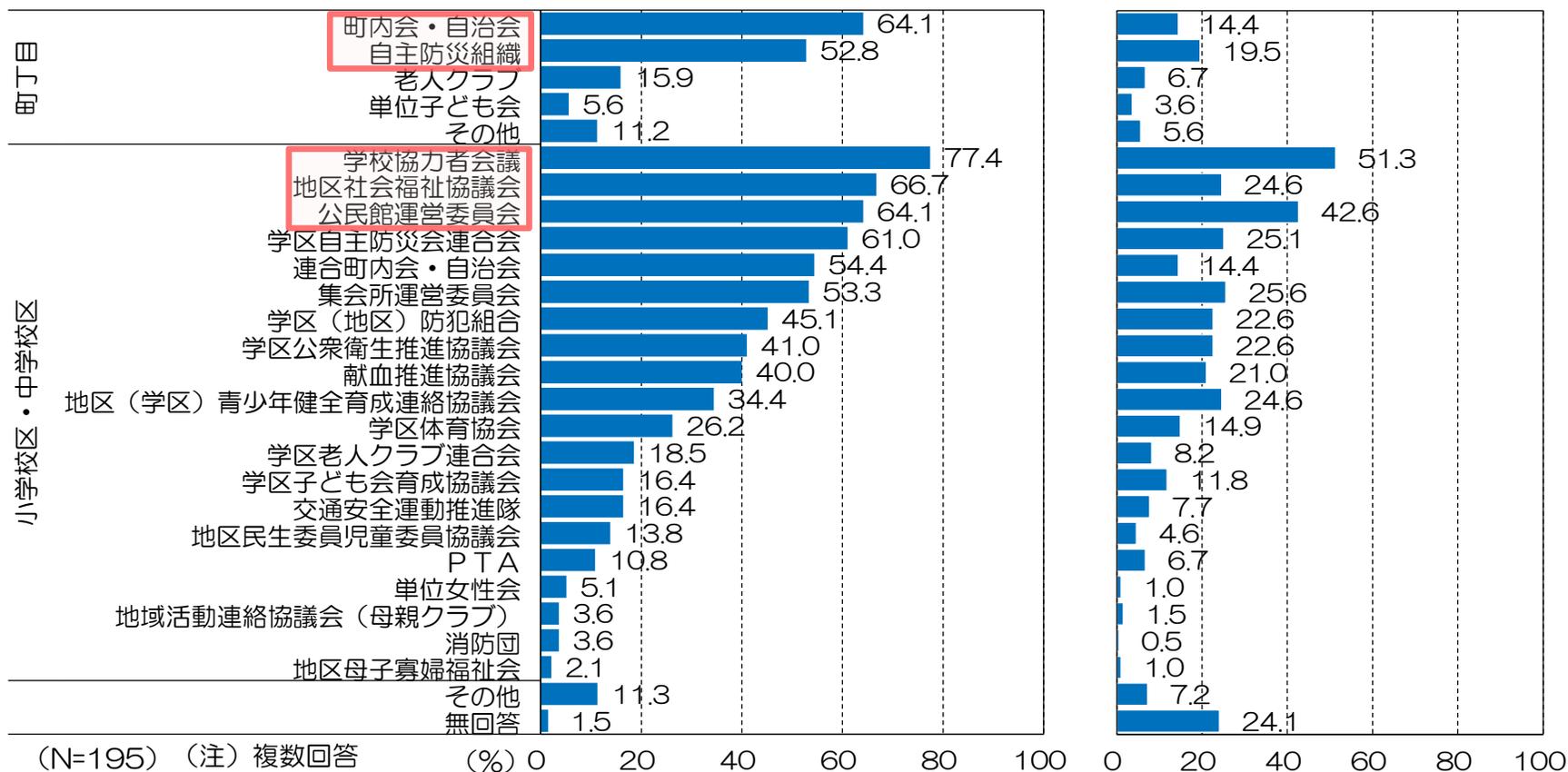
## 2. 調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ③ 担い手の状況

兼任している地域団体の役員

【地域団体】



➤ 地域団体の会長は町内会長や自主防災組織、学校協力者会議、地区社協、公民館運営委員会との兼任が多い。兼任数の平均は6.8役、うち充て職は4.5役

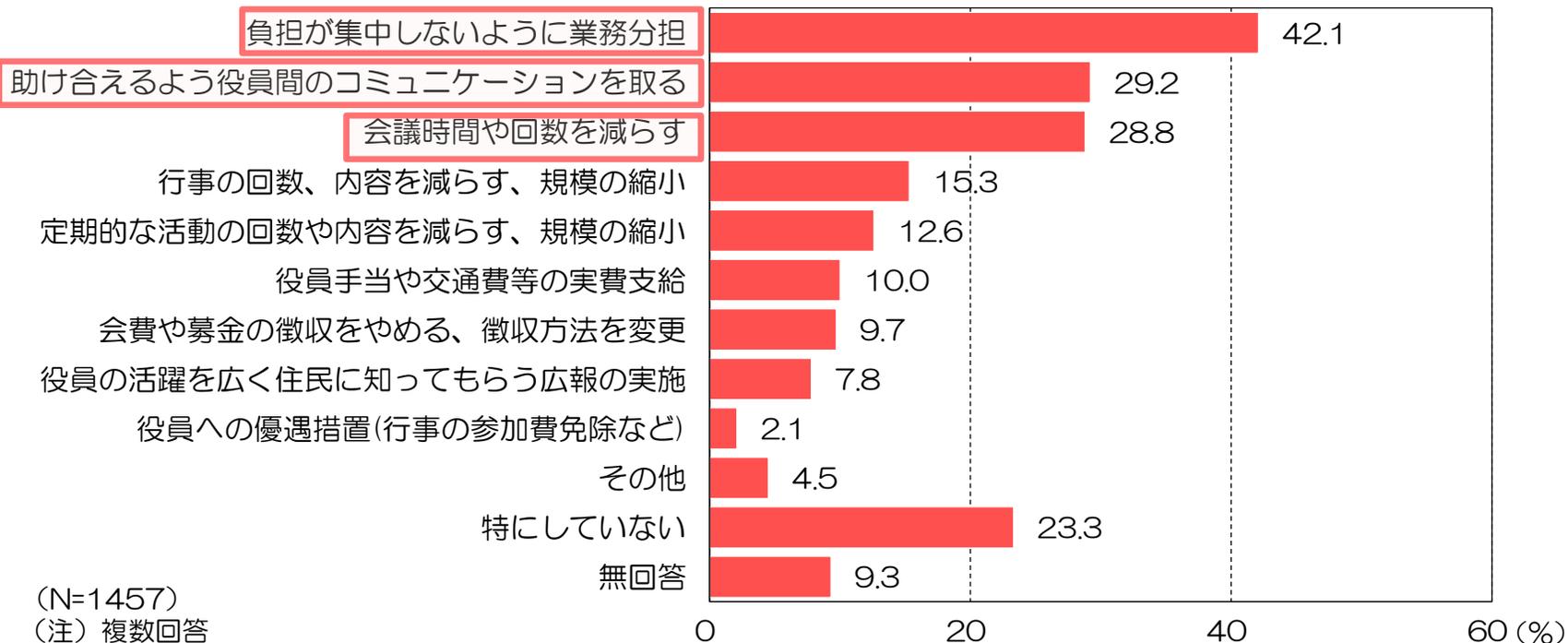
## 2.調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ③ 担い手の状況

役員負担軽減のために行っている取組

【町内会・自治会】

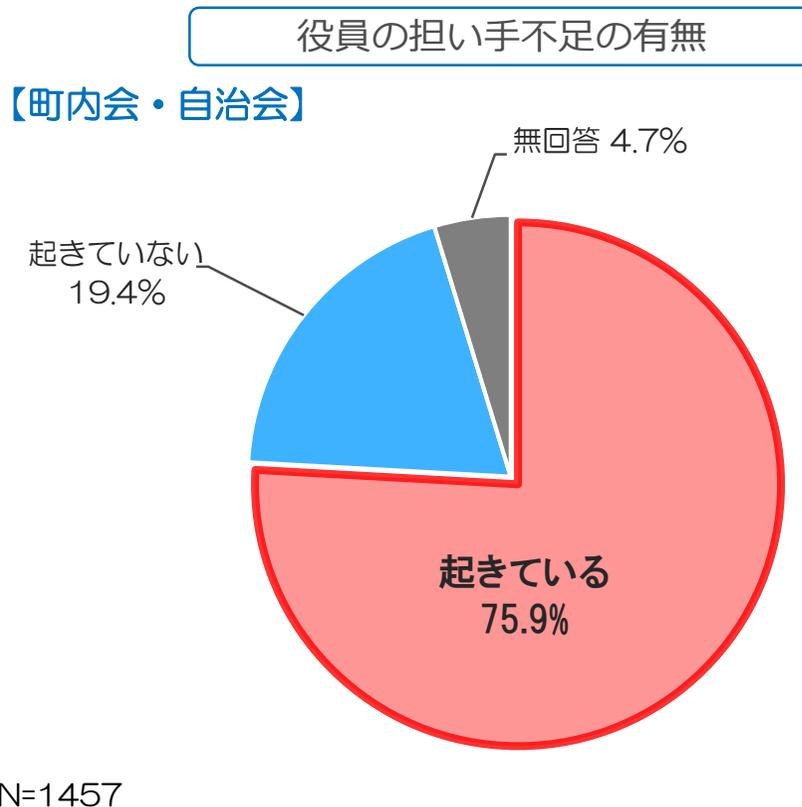


➤ 「負担が集中しないように業務分担する」が最も多く、次いで「役員間のコミュニケーションを取る」「会費時間や回数を減らす」の順となっている。

## 2.調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ③ 担い手の状況



➤ 担い手不足が「起きている」が8割を占めている。

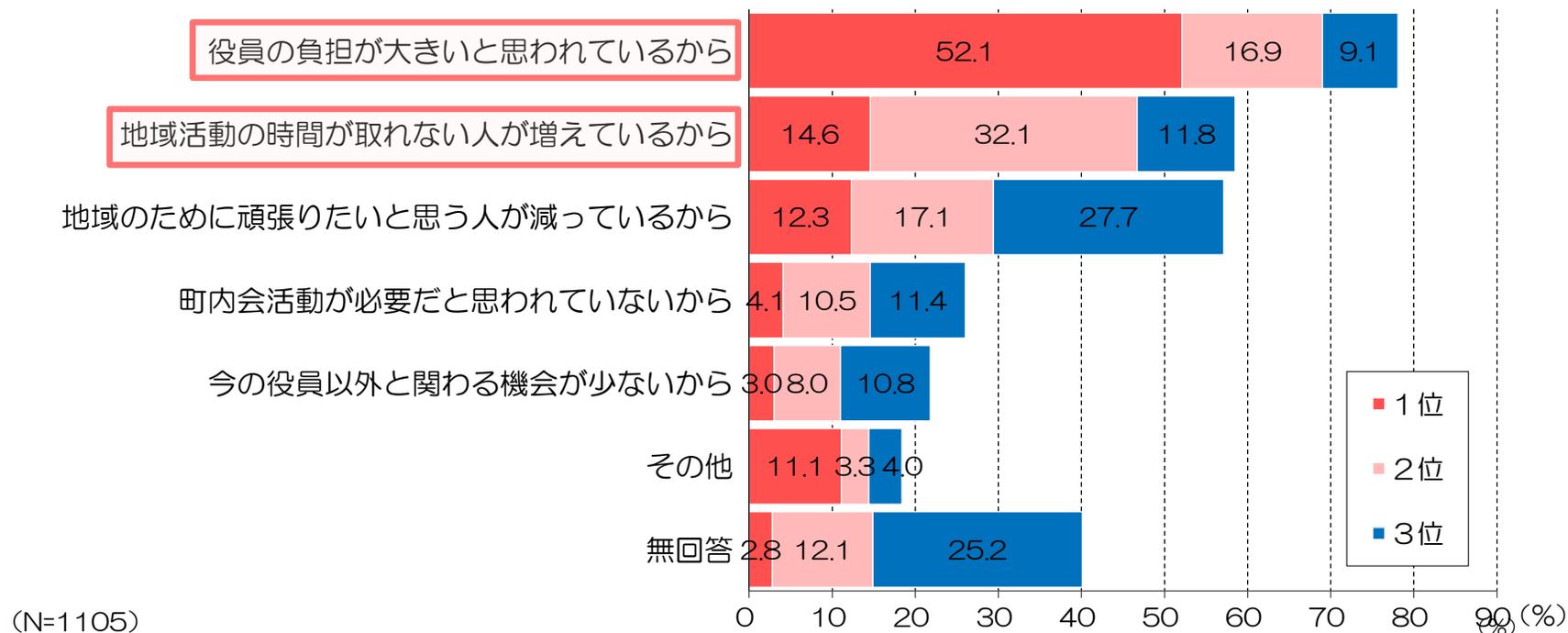
## 2.調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ③ 担い手の状況

担い手不足の要因

【町内会・自治会】



➤ 町内会の担い手不足の原因は、「役員の負担が大きいとされているから」「時間時間が取れない人が増えている」「地域のために頑張りたい人が減っている」の3つが多い。

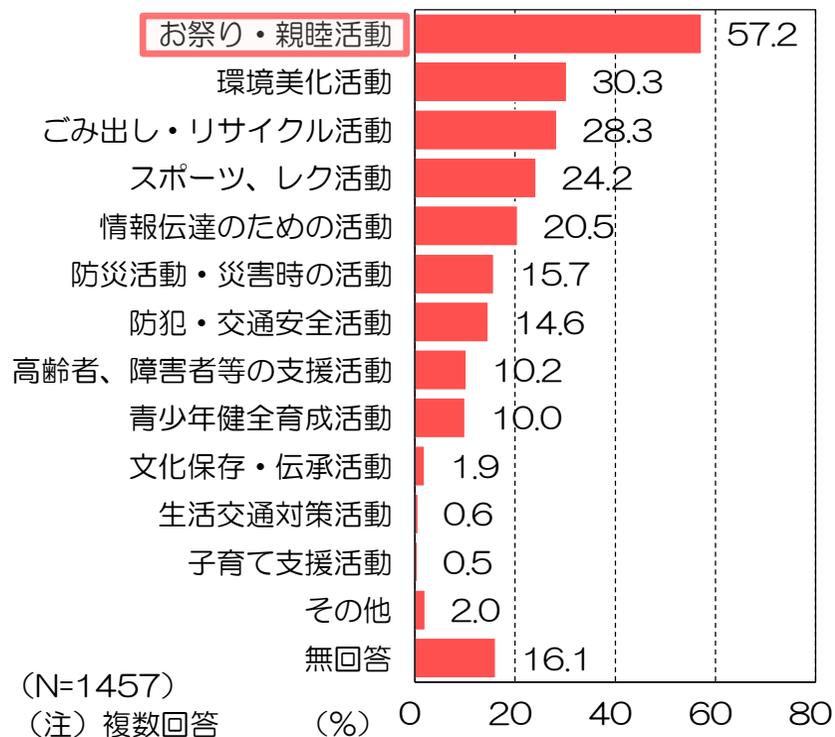
## 2.調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

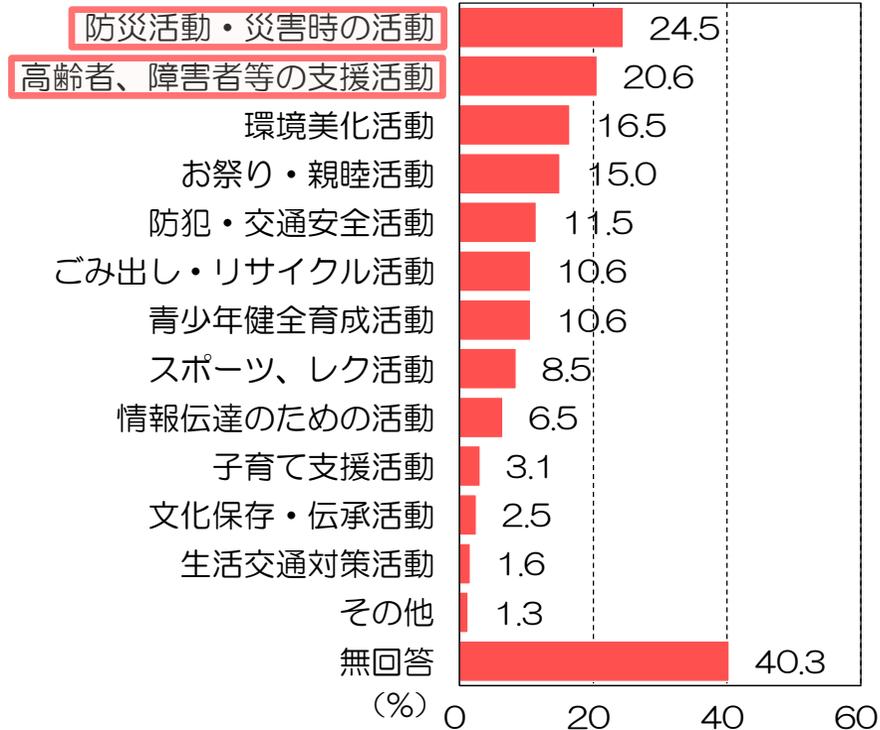
#### ④ 地域活動の状況

注力している活動、充実させたい活動【町内会・自治会】

【注力している活動】



【充実させたい活動】



➤ 町内会が注力している活動は「お祭り・親睦活動」が多い。今後充実させたい活動は「防災活動」「高齢者等の支援活動」が多い。

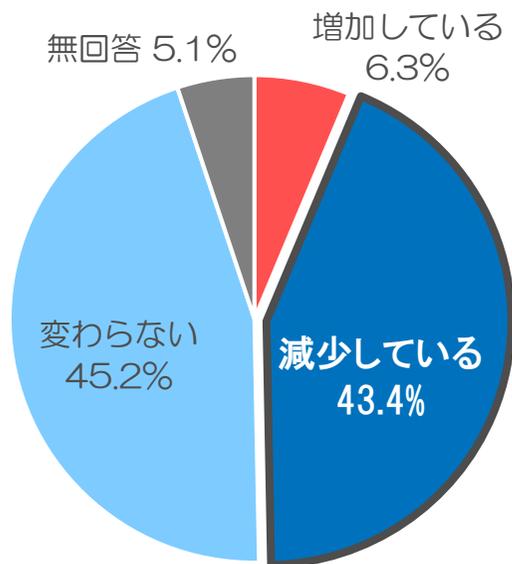
## 2. 調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ④ 地域活動の状況

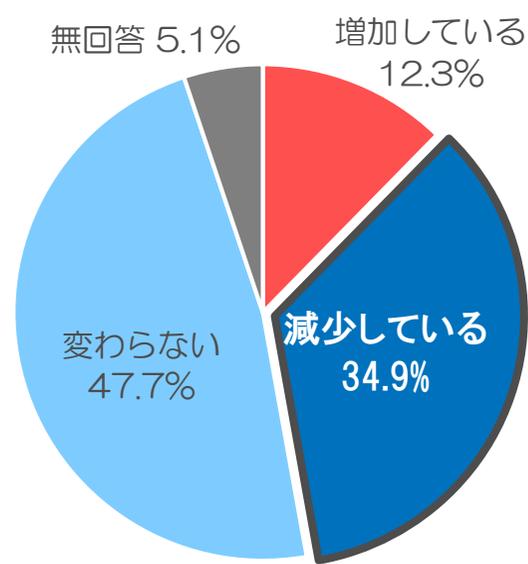
活動への参加者数

【町内会・自治会】



N=1457  
(%)

【地域団体】



N=195  
(%)

▶ 参加者は減少傾向。

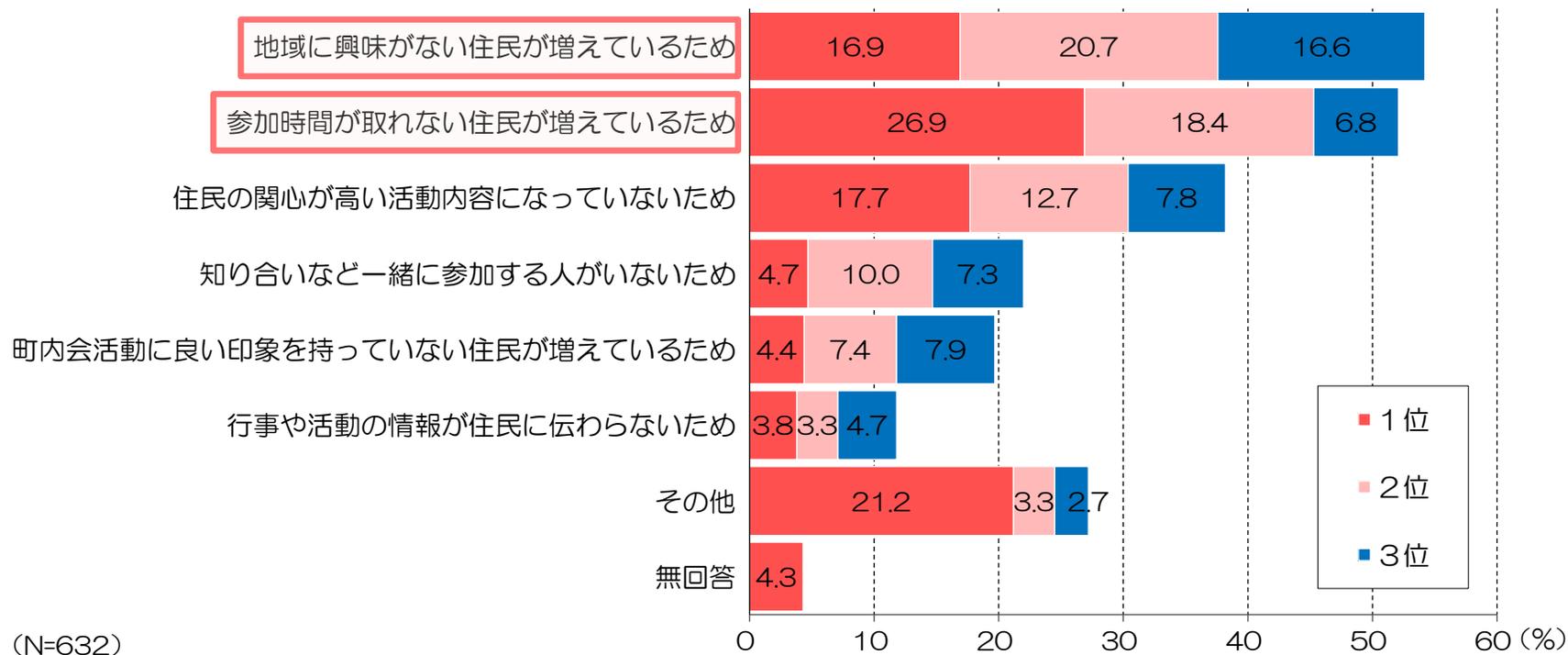
## 2.調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ④ 地域活動の状況

参加者が減少している理由

【町内会・自治会】



➤ 町内会の減少理由は「地域に興味がない住民が増加」「時間が取れない住民が増加が多い。

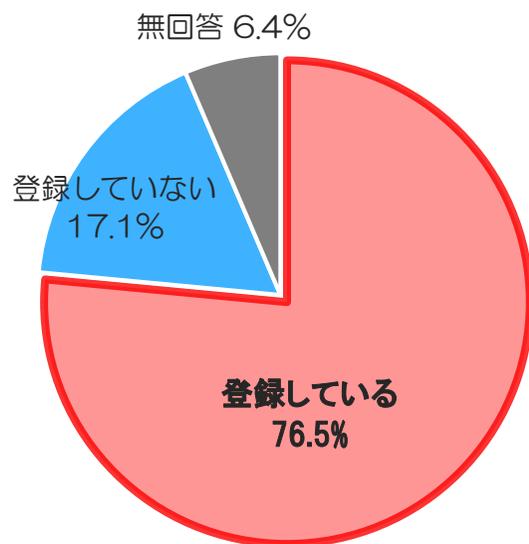
## 2. 調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ④ 地域活動の状況

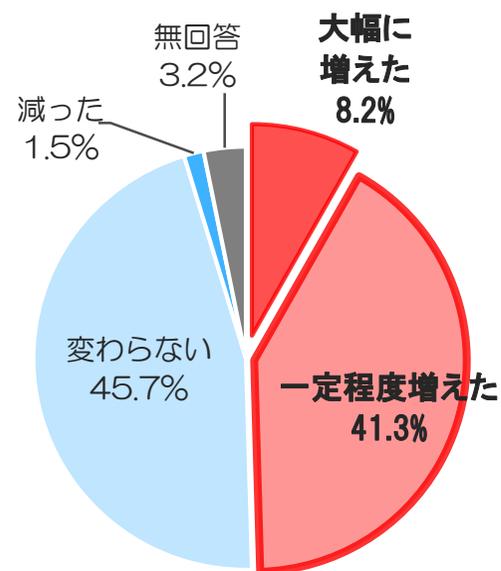
高齢者いきいき活動ポイント事業への登録状況

##### 【町内会・自治会】



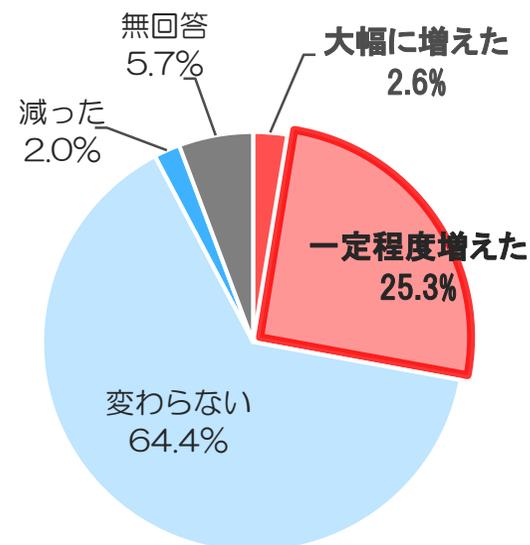
N=1457

##### (登録による活動参加者の増減)



N=1115

##### (登録による活動協力者の増減)



N=1115

- 8割弱の町内会が登録している。このうち、登録後に活動参加者が増えた団体が約半数。また、担い手が増えた団体も3割弱。

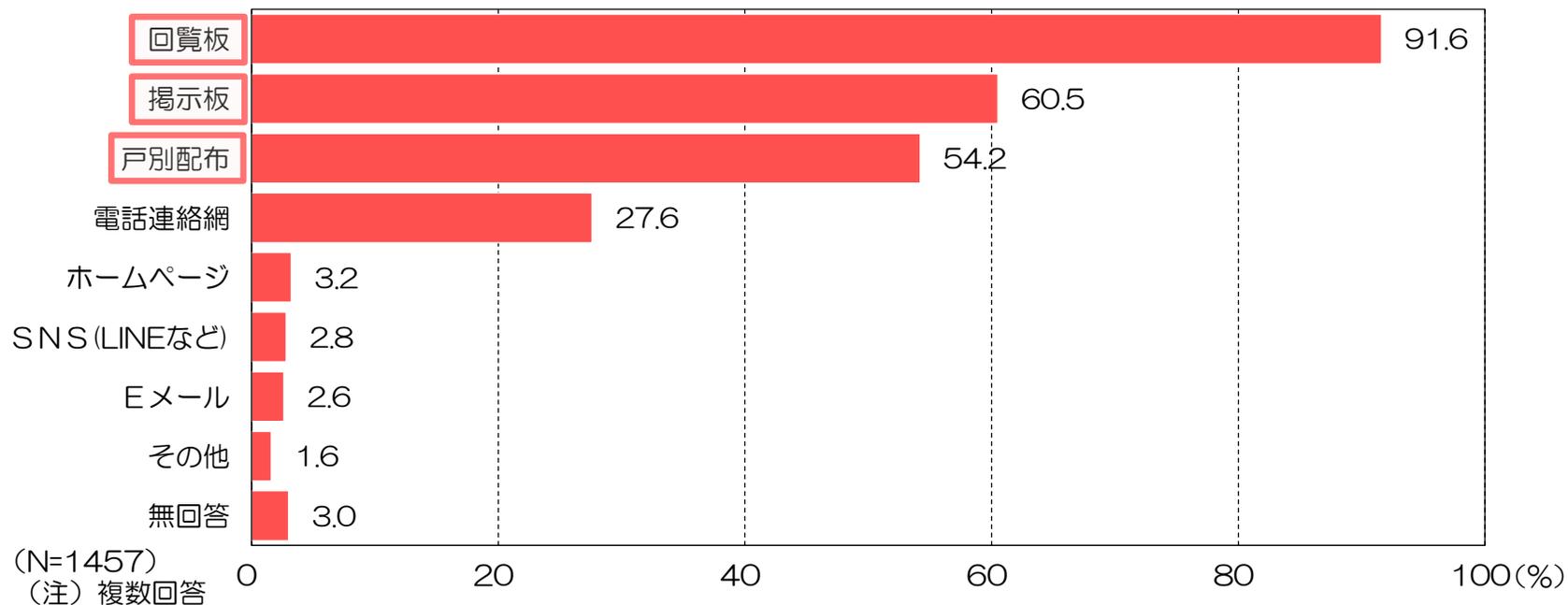
## 2.調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ⑥ 広報及び情報伝達の状況

##### 活動の広報手段

【町内会・自治会】



➤ 町内会の広報は「回覧板」が9割以上、「掲示板」「戸別配布」が6割程度と紙媒体が中心。HPやSNS等の電子媒体は3%程度。

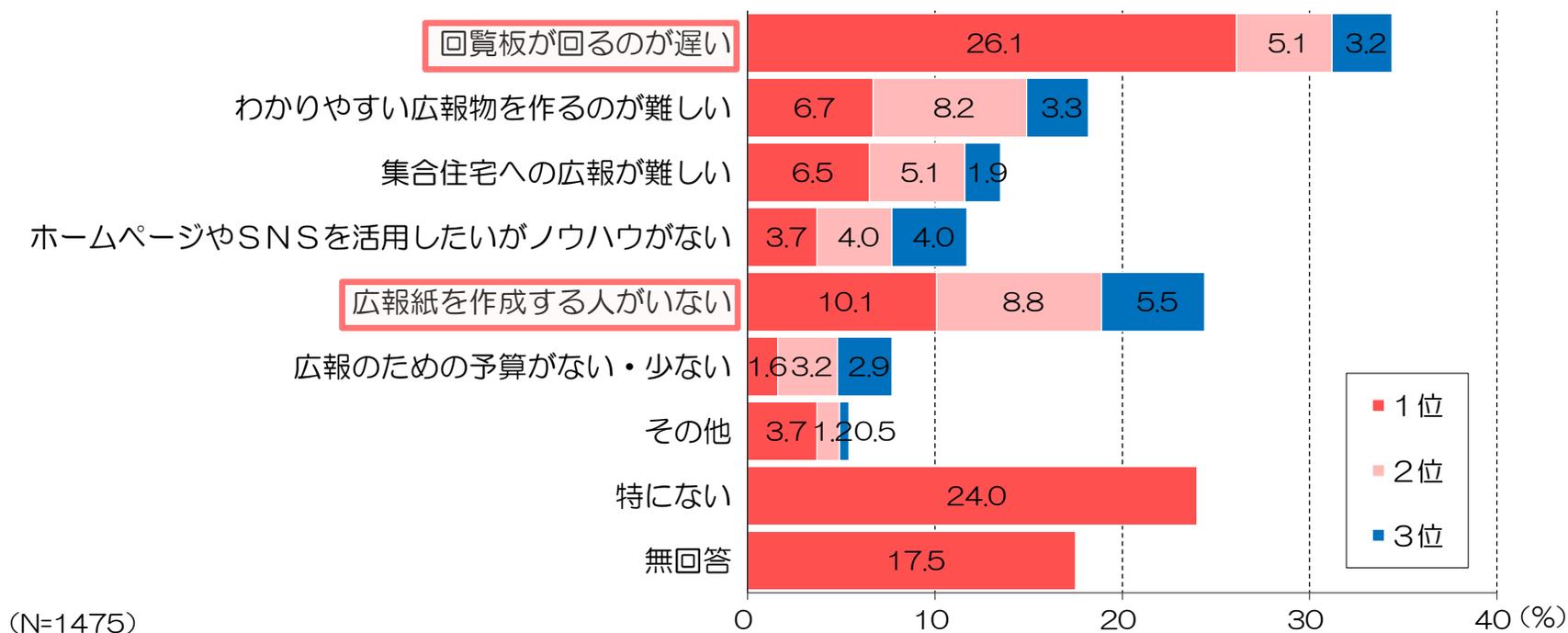
## 2.調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ⑥ 広報及び情報伝達の状況

情報の伝達手段や広報活動に関する課題

【町内会・自治会】



➤ 「回覧板が回るのが遅い」が多い。

## 2.調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ⑥ 広報及び情報伝達の状況

電子媒体を活用するメリット・デメリット

#### メリット

- 情報伝達が早い
  - 簡単に伝えられる
  - 伝達記録が確認できる
  - 緊急時に役立つ
- など

#### デメリット

- 更新ができる人が限られる
  - 作業が面倒
  - 使えない人がいる
- など

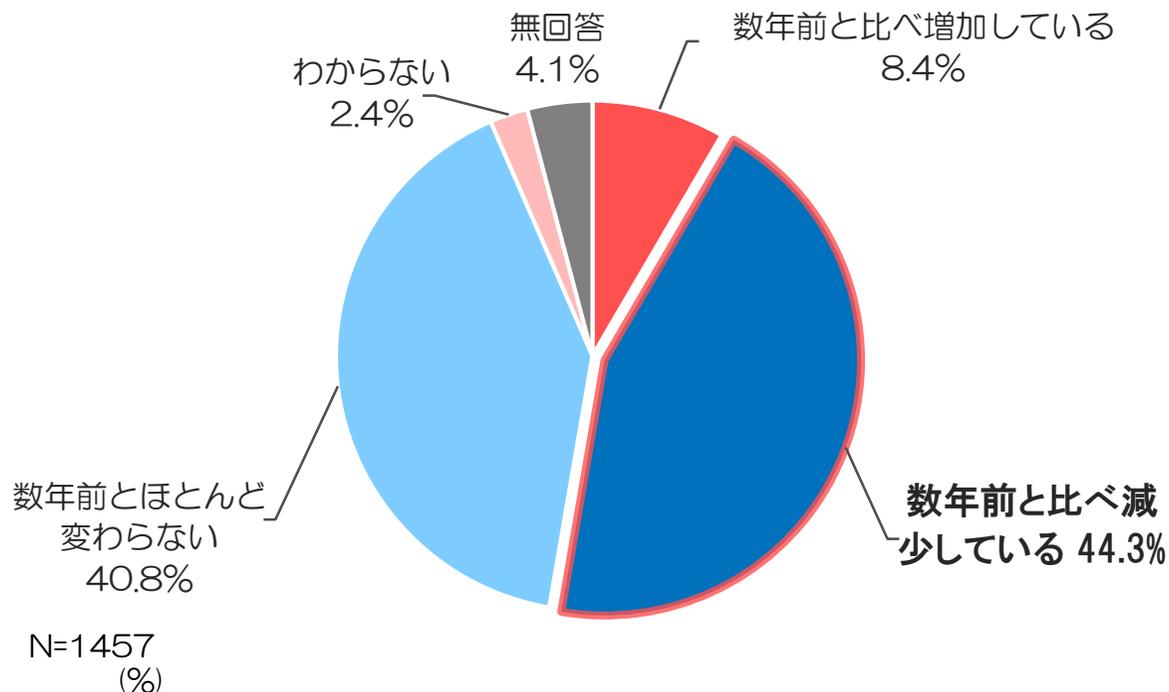
## 2.調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ⑦ 町内会・自治会への加入状況

町内会・自治会の加入世帯数の増減状況

【町内会・自治会】



➤ 加入世帯数は「減少」が4割強、変動なしが「4割」、「増加」は1割未満。

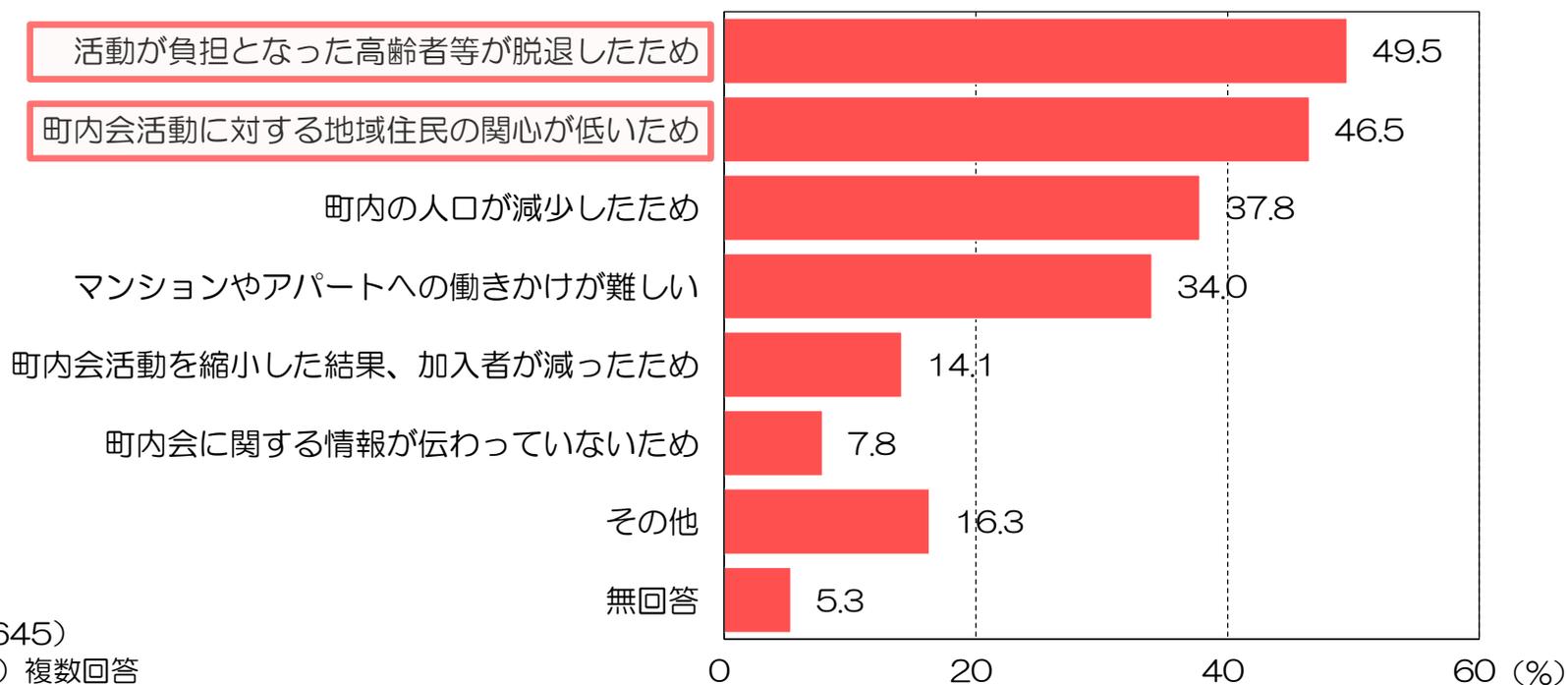
## 2.調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ⑦ 町内会・自治会への加入状況

加入世帯数の減少した理由

【町内会・自治会】



➤ 減少理由は「高齢者の脱退」「地域住民の関心が低い」が同程度。

## 2. 調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ⑦ 町内会・自治会への加入状況

##### 加入世帯数の減少した理由（世帯数別）

##### 【町内会・自治会】

	町内会活動に対する地域住民の関心が低い ため	マンションやアパートへの働きかけが難しい	町内会に関する情報が伝わっていない ため	活動が負担となった高齢者等が脱退した ため	町内会活動を縮小した結果、加入者が減ったため	町内の人口が減少したため	その他
全体	46.5	34.0	7.8	49.5	14.1	37.8	16.3
10世帯未満	8.3	-	-	29.2	8.3	79.2	8.3
10～30世帯未満	18.8	11.5	2.1	37.5	10.4	62.5	15.6
30～50世帯未満	37.9	22.4	3.4	39.7	13.8	50.0	6.9
50～100世帯未満	38.7	25.8	4.3	50.5	22.6	34.4	17.2
100～150世帯未満	57.3	32.6	5.6	42.7	19.1	38.2	22.5
150～200世帯未満	61.9	47.6	15.9	52.4	7.9	23.8	20.6
200～500世帯未満	62.6	51.6	12.3	64.5	14.8	27.1	16.1
500～700世帯未満	52.4	52.4	14.3	71.4	9.5	19.0	9.5
700～1000世帯未満	73.3	73.3	6.7	60.0	6.7	-	33.3
1000世帯以上	50.0	33.3	33.3	50.0	-	33.3	-

- 世帯数が多い地域は、「関心の低さ」や「集合住宅への働きかけの困難さ」などが多く、世帯数が少ない地域は「人口減少」が多い。

## 2. 調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ⑦ 町内会・自治会への加入状況

運営上の困りごと（加入率別）

【町内会・自治会】

	役員の なり手 (後継 者)が 見つ か ら な い	役員が 高齢 化し てい る	業務が 多く、 役員 の負 担が 大き い	会議 や 事務 を行 う場 所(活 動拠 点)が 確保 でき ない	活動 資金 が不 足し てい る	行政 への 提出 書類 の作 成な どの 事務 が面 倒	行政 から の依 頼や チ ラシ ・回 覧物 が多 い	行事 や活 動の 「参 加 者」 が 減 少し てい る	行事 や活 動の 「協 力 者」 が 減 少し てい る	町内 会・ 自 治 会 への 加入 世帯 が 減 っ て い る	町内 会 活 動に 関 する 情 報 が き ち ん と 伝 わ ら な い	町内 会 活 動に 対 する 地 域 住 民 の 理 解 が 得 ら れ な い	集合 住 宅 の 住 民 と の 交 流 が 図 り に く い	その他	特 に な い
全体	64.0	68.6	21.2	5.5	5.5	12.6	33.4	33.1	29.9	35.3	7.0	9.9	29.0	4.3	4.5
10%未満	81.8	72.7	27.3	-	9.1	18.2	54.5	27.3	27.3	36.4	9.1	9.1	36.4	9.1	9.1
10~20%未満	73.3	66.7	13.3	13.3	13.3	6.7	26.7	40.0	33.3	73.3	-	6.7	53.3	-	-
20~30%未満	64.0	48.0	16.0	4.0	16.0	12.0	20.0	32.0	28.0	60.0	16.0	20.0	64.0	-	8.0
30~40%未満	67.6	78.4	18.9	8.1	-	10.8	35.1	35.1	32.4	78.4	8.1	27.0	62.2	-	-
40~50%未満	88.0	80.0	20.0	2.0	12.0	10.0	32.0	20.0	30.0	76.0	14.0	14.0	64.0	10.0	-
50~60%未満	73.7	76.3	21.2	5.9	5.9	11.9	40.7	41.5	42.4	68.6	6.8	10.2	59.3	10.2	1.7
60~70%未満	72.7	67.7	20.2	6.1	6.1	10.1	40.4	38.4	37.4	57.6	13.1	14.1	52.5	9.1	1.0
70~80%未満	59.5	67.9	20.6	9.9	9.9	11.5	32.1	31.3	29.8	46.6	4.6	13.0	40.5	2.3	1.5
80~90%未満	67.5	68.2	20.4	3.8	1.9	12.7	35.7	28.0	28.7	42.7	6.4	7.6	31.2	3.2	2.5
90~95%未満	62.8	70.9	28.4	5.4	4.7	16.9	36.5	38.5	29.1	25.0	10.1	10.8	18.9	2.0	2.0
95~100%未満	63.3	68.8	23.1	5.9	5.0	12.7	32.6	33.5	24.9	11.8	5.4	7.7	7.2	5.4	6.8
100%	51.2	62.7	16.4	4.9	3.8	13.9	29.3	31.4	26.8	8.0	3.8	4.5	7.0	3.1	11.1

➤ 加入率の低い町内会では、「集合住宅との交流の図りにくさ」の割合が高い。

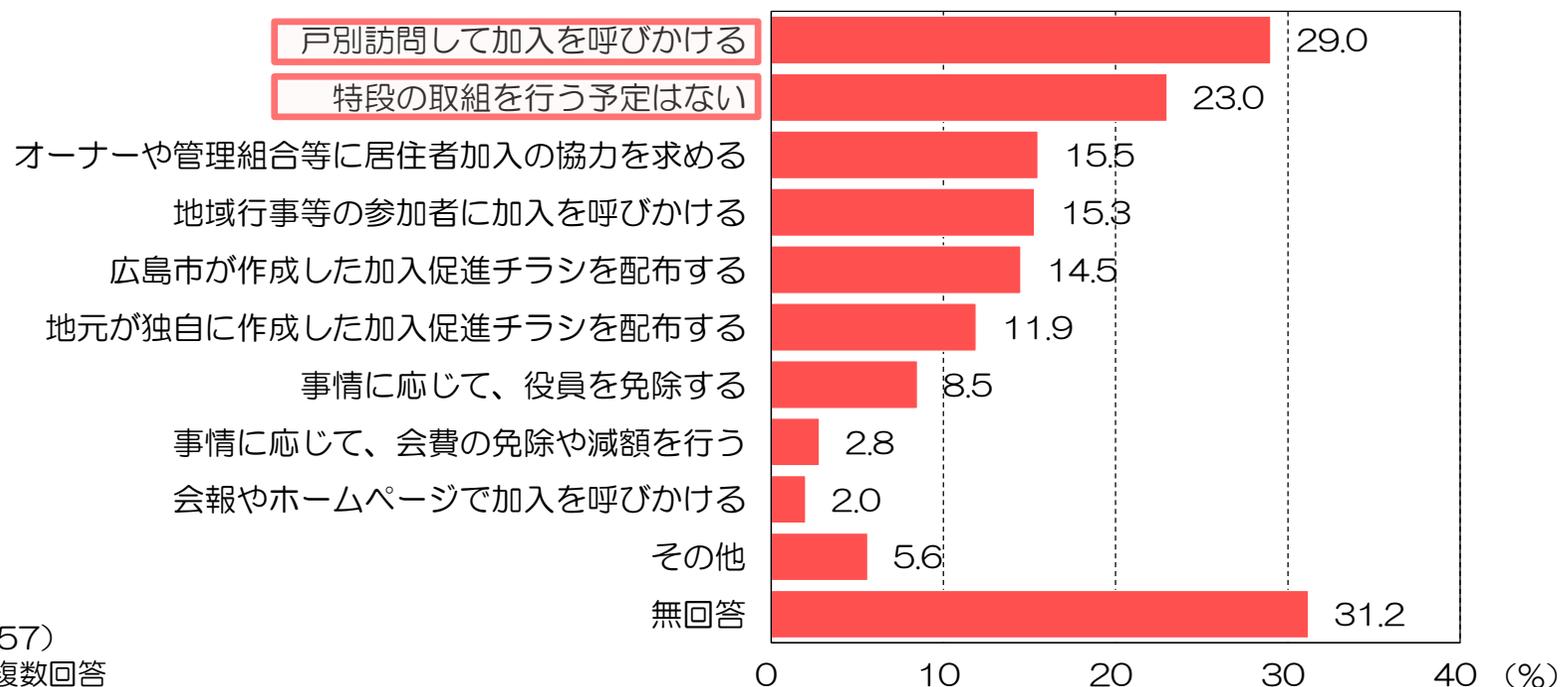
## 2.調査結果（ポイント）

### 町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

#### ⑦ 町内会・自治会への加入状況

未加入者の加入促進のために行っている取組

【町内会・自治会】



(N=1457)

(注) 複数回答

- 加入促進の取組は「役員の戸別訪問」が多い。一方で「取組を行う予定はない」も多い。その理由として、「勧誘による住民との関係悪化」「町内会の存在意義、メリットが説明できない」などの意見が多い。

# 市民意識アンケート結果

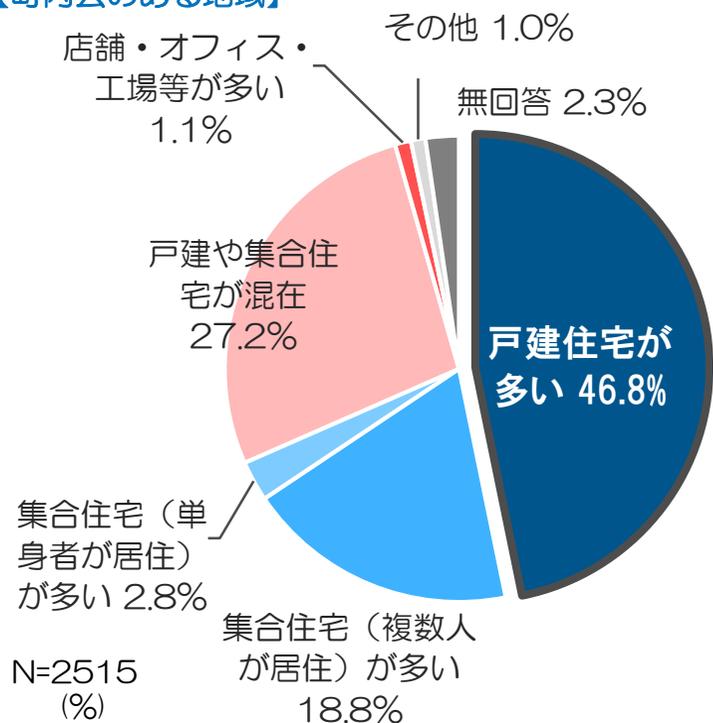
## 2.調査結果（ポイント）

### 市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

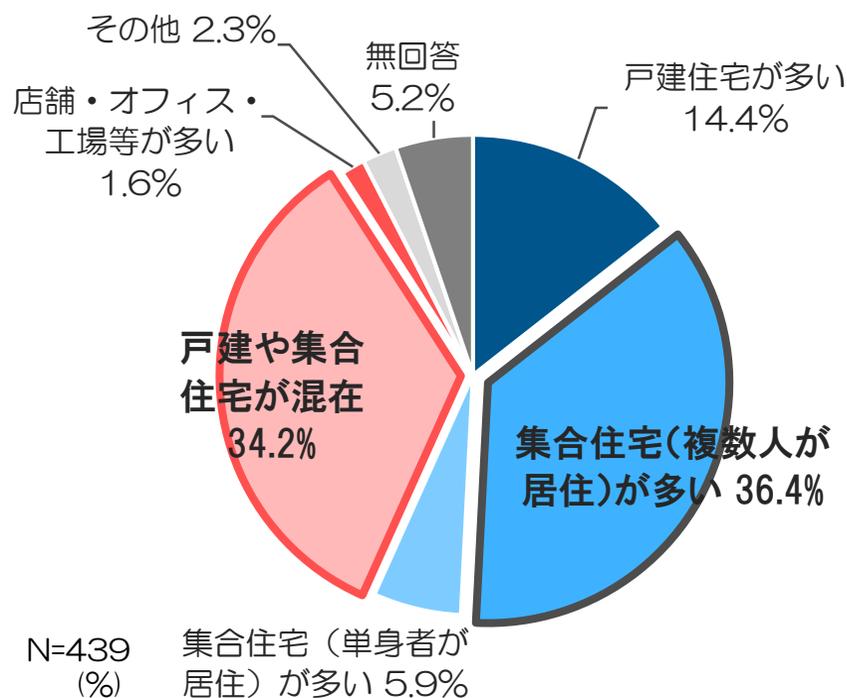
#### ① 住宅状況

周りの住宅の状況

##### 【町内会のある地域】



##### 【町内会のない地域】



➤ 結成区域では戸建て住宅が半数近く、未結成区域では集合住宅が中心、戸建て・集合住宅の混在地域が多い。

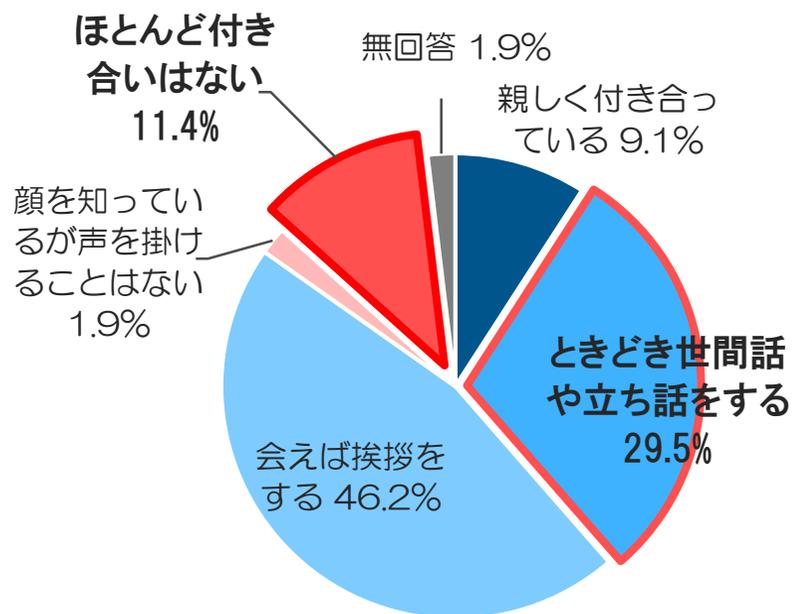
## 2.調査結果（ポイント）

### 市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

#### ② 近所づきあい

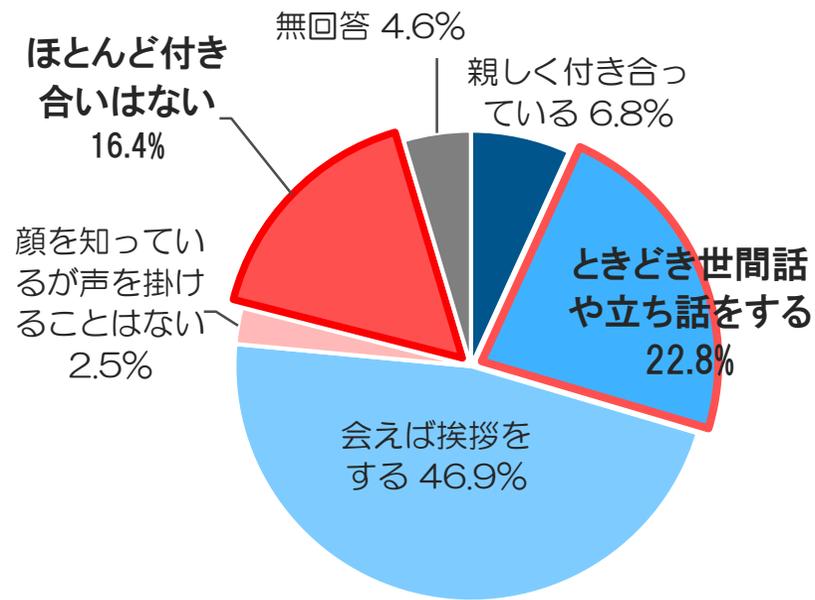
近所づきあいの程度

【町内会のある地域】



N=2515

【町内会のない地域】



N=439

- 結成区域は「ときどき世間話や立ち話をする」が7%高い。一方、未結成区域は「ほとんど付き合いがない」が5%高い。

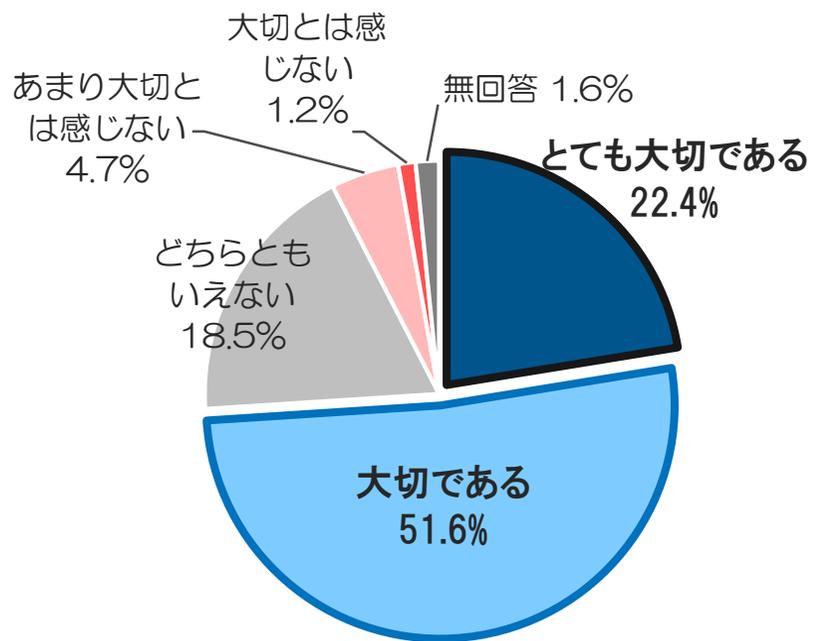
## 2.調査結果（ポイント）

### 市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

#### ② 近所づきあい

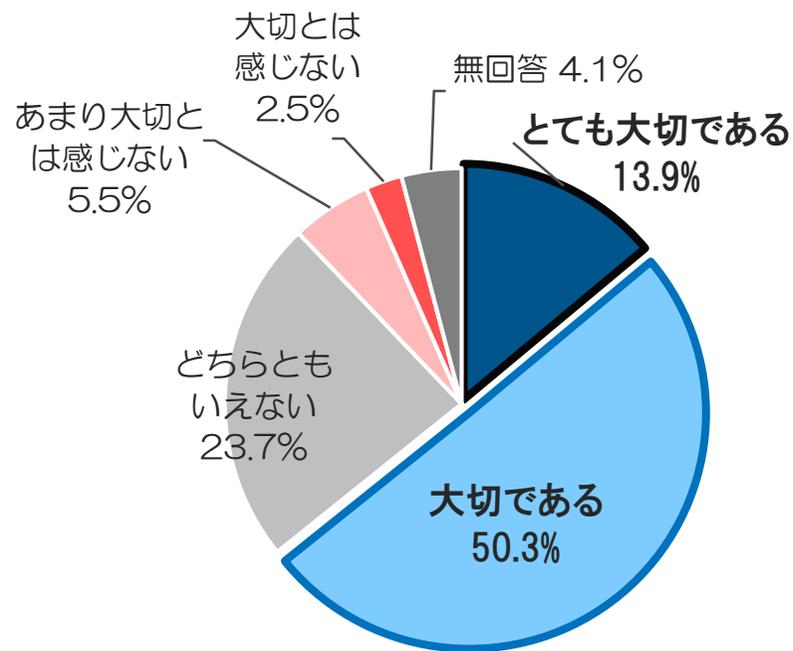
##### 地域とのつながりの大切さ

###### 【町内会のある地域】



N=2515

###### 【町内会のない地域】



N=439

- 地域とのつながりでは、結成区域の7割強、未結成区域の6割強が「大切である」と回答している。

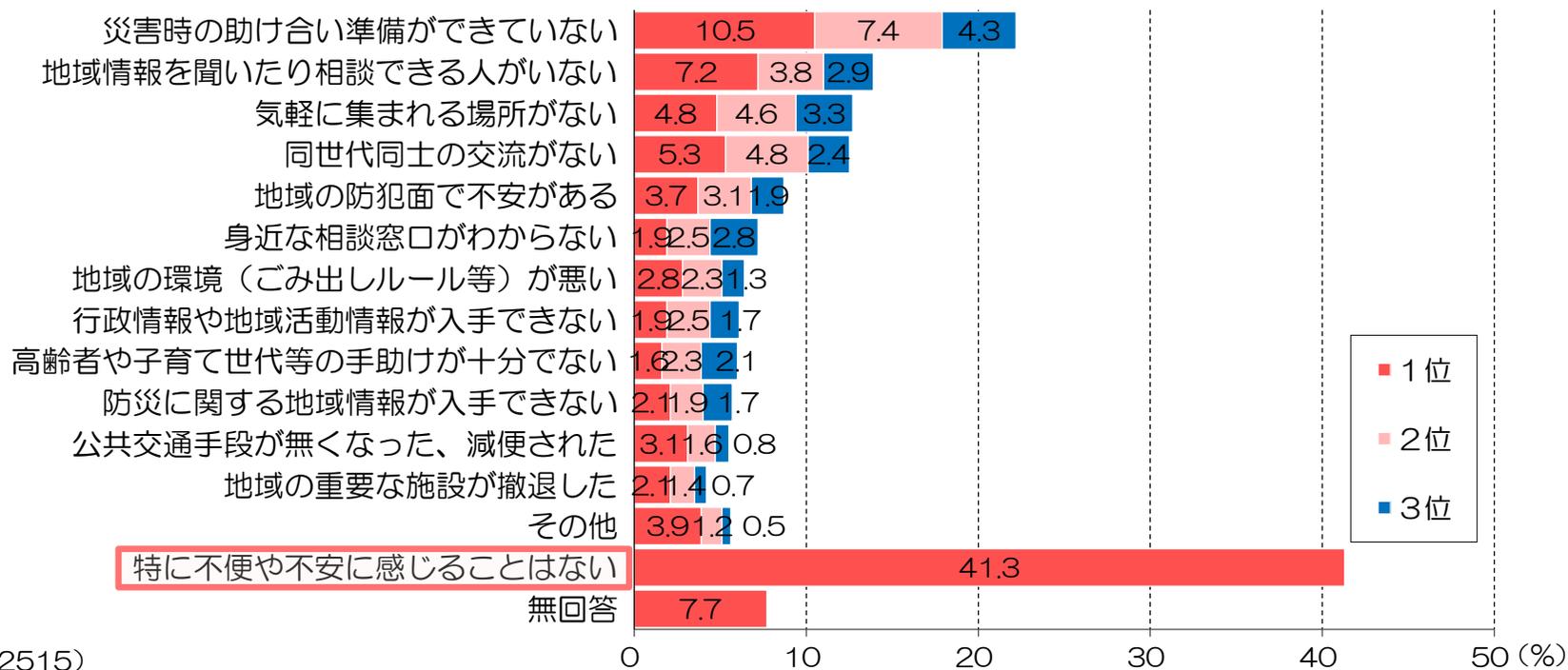
## 2.調査結果（ポイント）

### 市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

#### ③ 地域への認識と地域活動への参加

地域生活で不便や不安なこと

【町内会のある地域】



➤ 約2割が「災害時の助け合い準備ができていない」と回答しているが、約4割は「不便・不安は特に感じない」と回答。

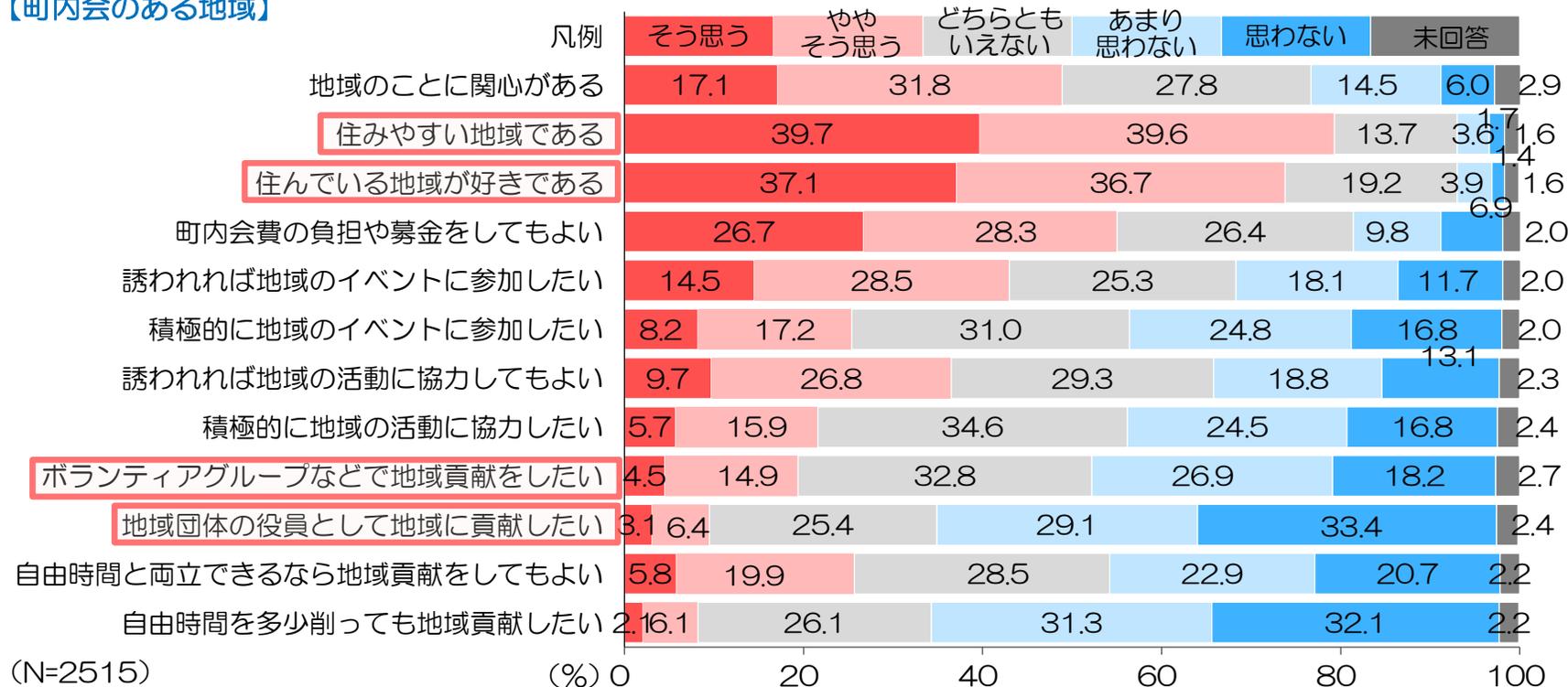
## 2. 調査結果（ポイント）

### 市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

#### ③ 地域への認識と地域活動への参加

##### 地域への認識

##### 【町内会のある地域】



➤ 結成区域・未結成区域ともに約7割が「住みやすい地域」「住んでいる地域が好き」と回答。しかし、地域活動へ積極的に協力したいとの回答は結成区域で約2割、未結成区域で約1割と低い。

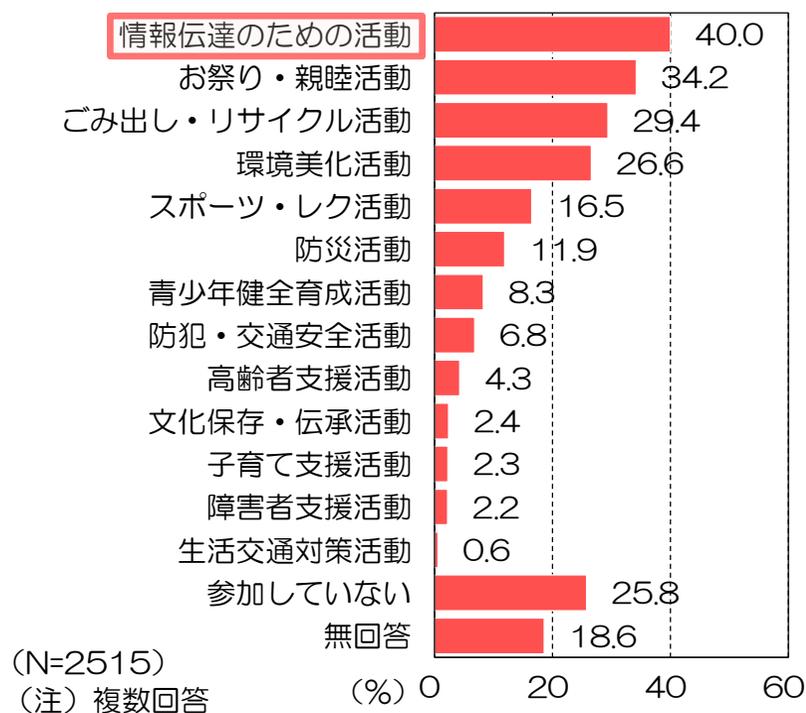
## 2.調査結果（ポイント）

### 市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

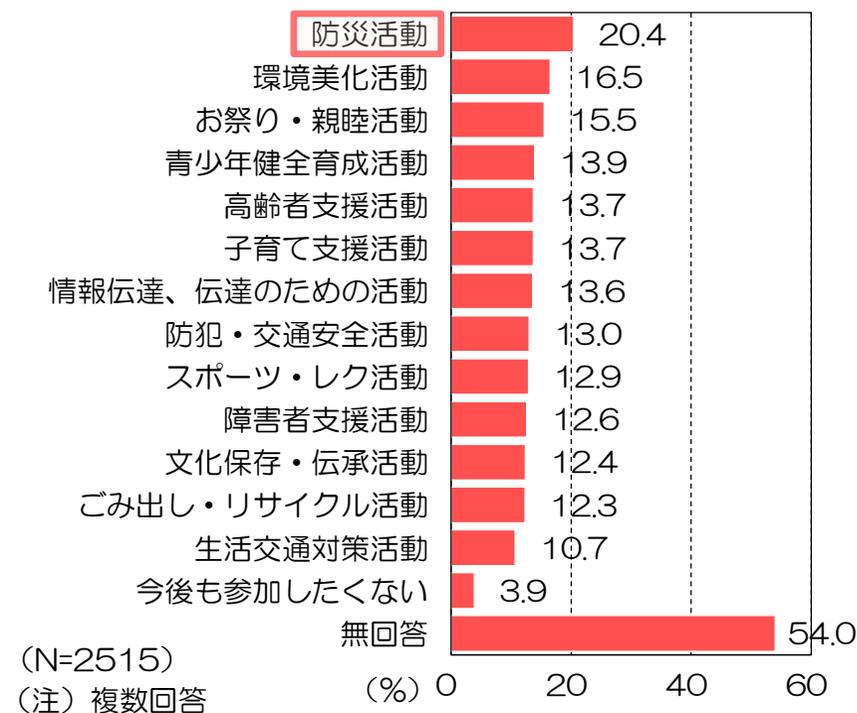
#### ③ 地域への認識と地域活動への参加

##### 地域活動への参加の経験・希望【町内会のある地域】

###### 【参加したことがある活動】



###### 【今後参加したい活動】



➤ 結成区域では、「情報伝達活動」「お祭り・親睦活動」に参加した人が多く、今後希望する活動は「防災活動」が2割。

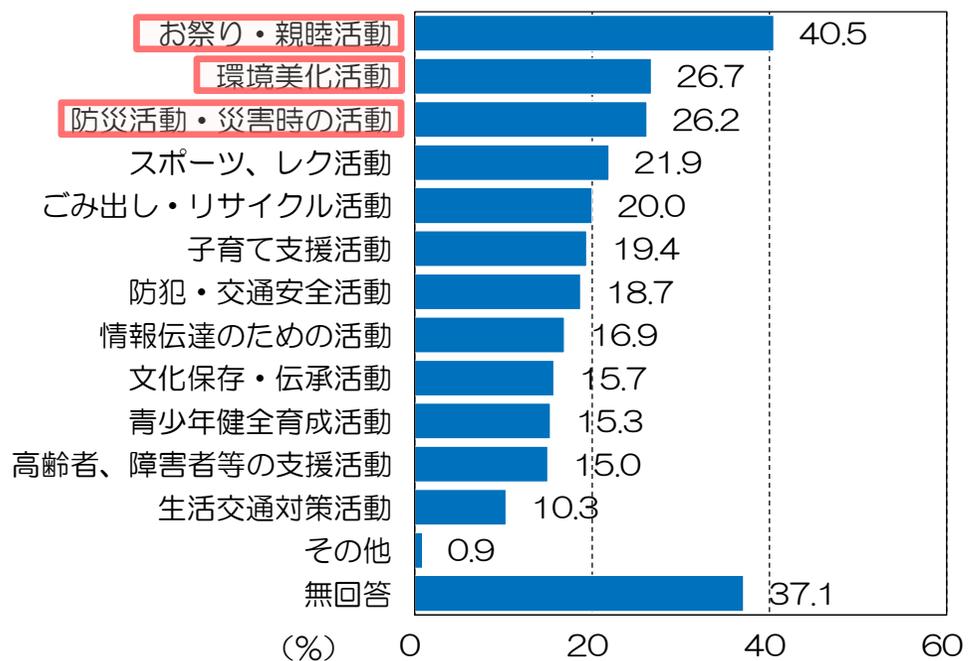
## 2.調査結果（ポイント）

### 市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

#### ③ 地域への認識と地域活動への参加

地域活動への参加の経験・希望【町内会のない地域】

【参加したい活動】



➤ 未結成区域では、参加してみたい活動は「お祭り・親睦活動」「環境美化活動」「防災活動」が多い。双方とも、気軽に参加できるものに人気があり、また、防災意識の高まりが見られる。

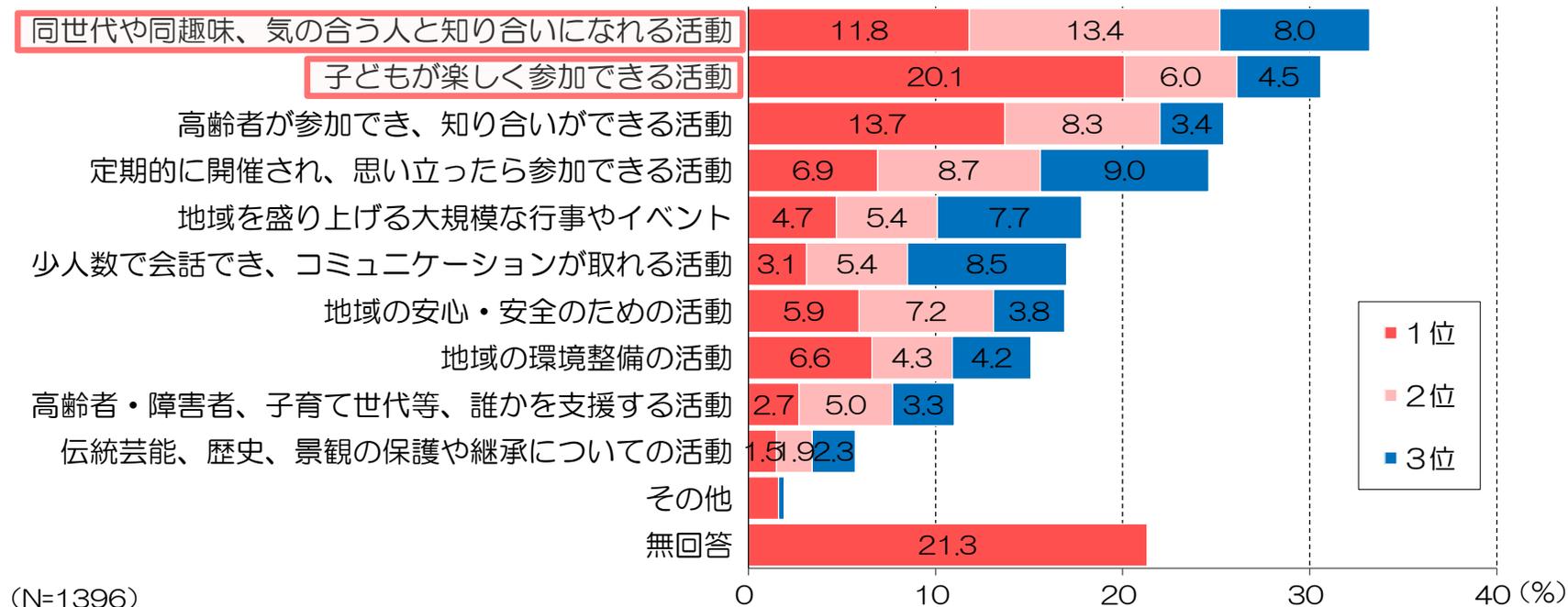
## 2.調査結果（ポイント）

### 市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

#### ③ 地域への認識と地域活動への参加

参加が増えると思う活動

【町内会のある地域】



➤ 「同年代、同趣味の人と知り合える」「子どもが参加」が支持。

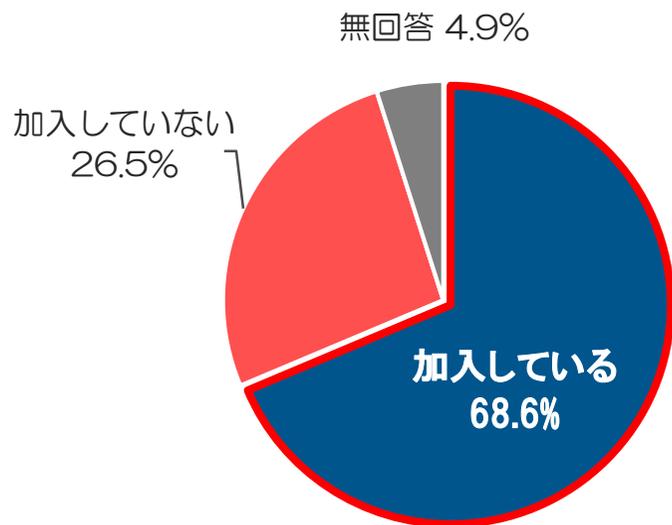
## 2.調査結果（ポイント）

### 市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

#### ④ 町内会・自治会への加入状況

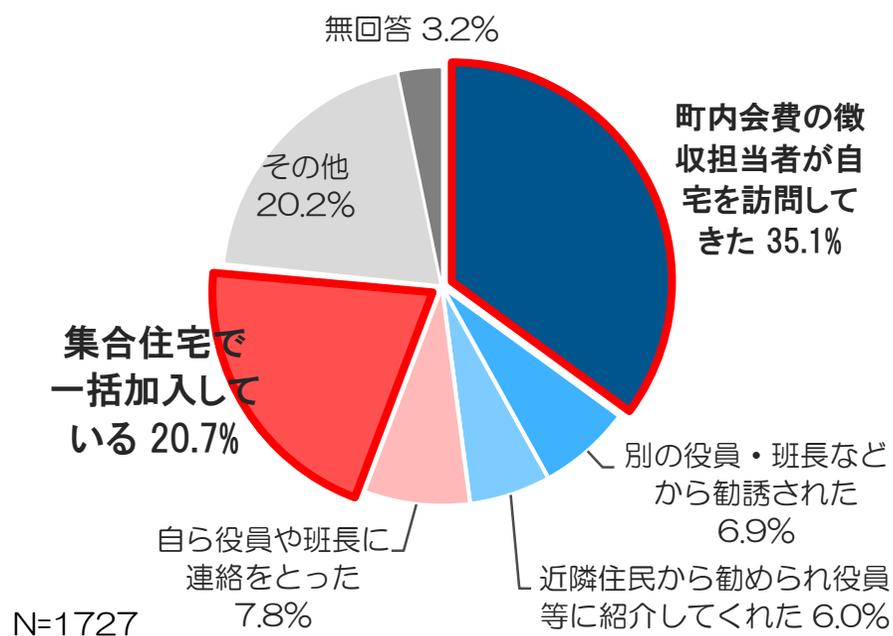
町内会・自治会への加入状況【町内会のある地域】

【加入状況】



N=2515

【加入したきっかけ】



N=1727

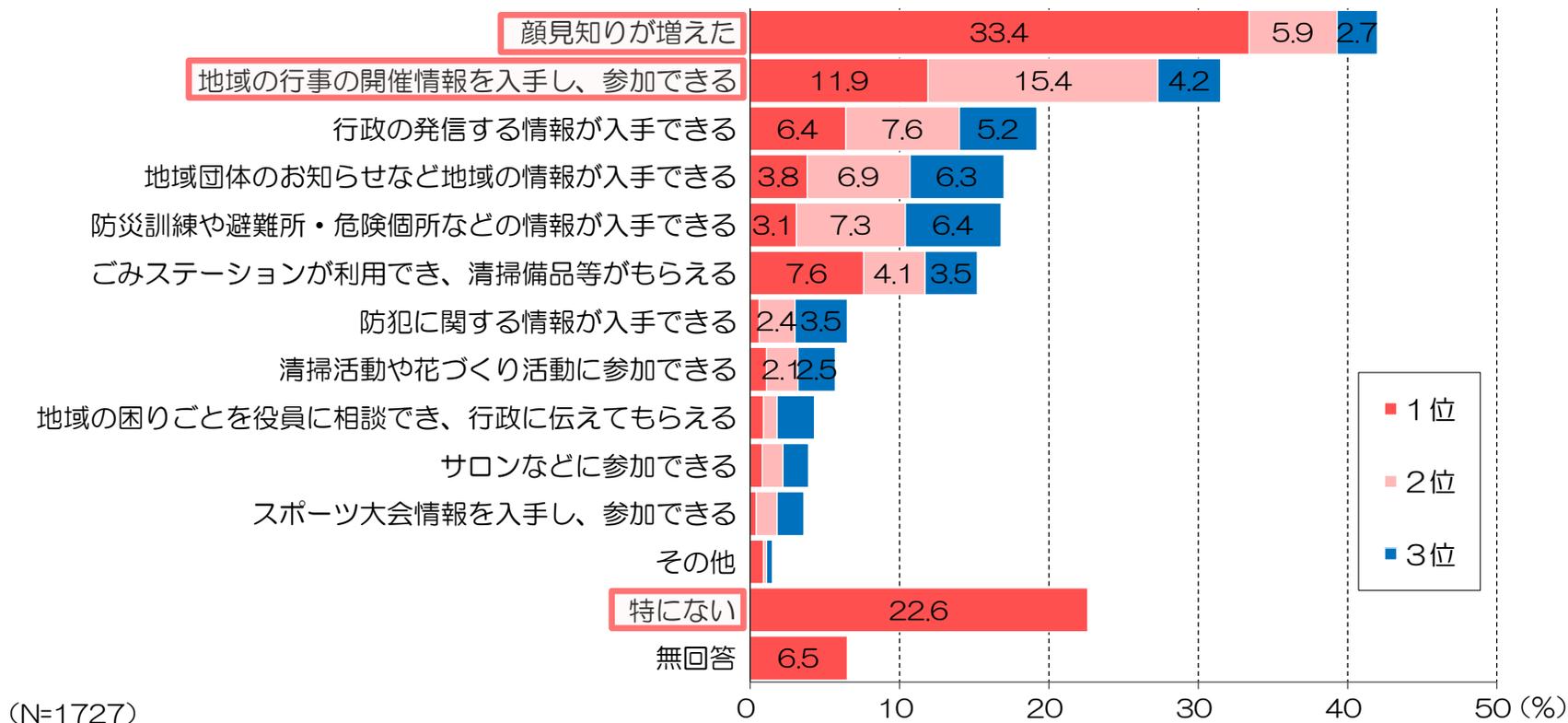
➤ 結成区域では、約7割が町内会・自治会に加入。きっかけは「町内会費の徴収担当者の自宅訪問」「集合住宅の一括加入」が多い。

## 2.調査結果（ポイント）

### 市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

#### ④ 町内会・自治会への加入状況

町内会・自治会に加入してよかったと思うこと【町内会のある地域】



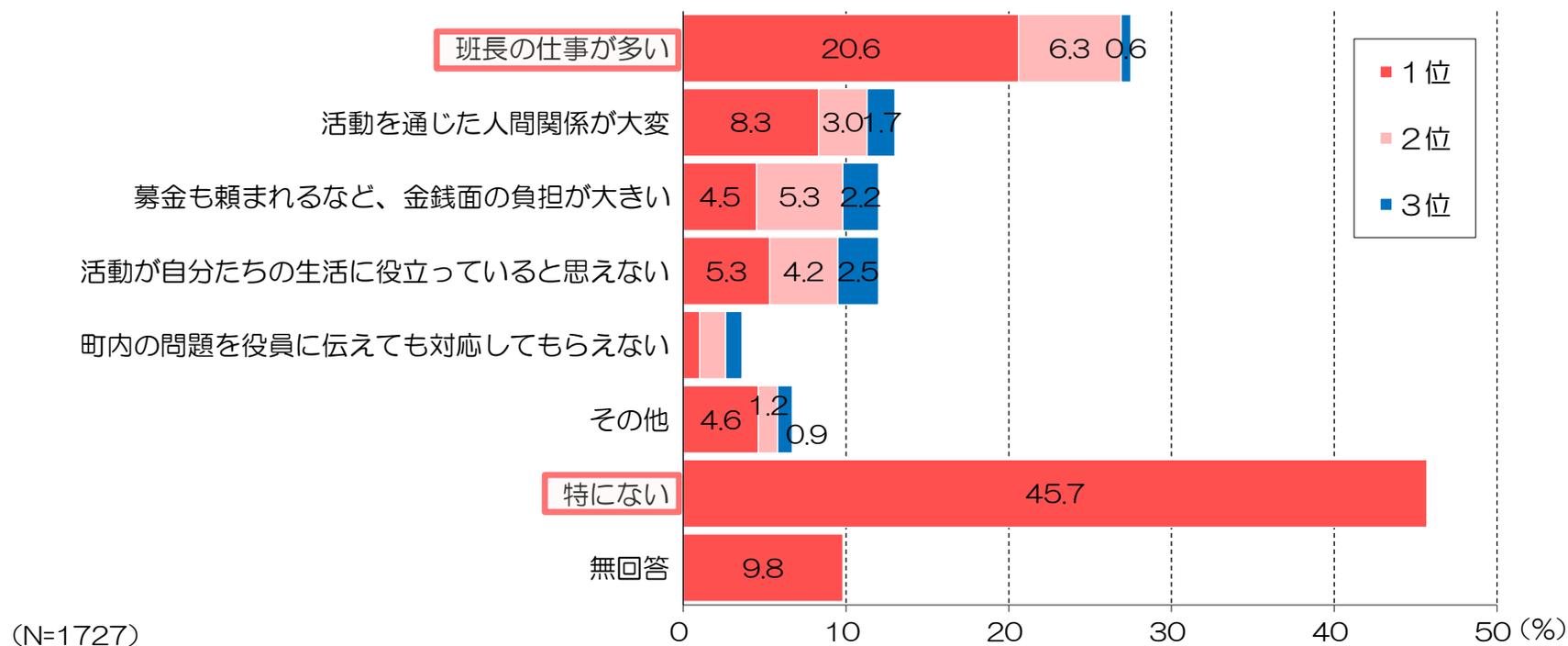
➤ 加入のメリットは「顔見知りが増えた」が最も多い。

## 2.調査結果（ポイント）

### 市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

#### ④ 町内会・自治会への加入状況

町内会・自治会に加入して大変又は不満に思うこと【町内会のある地域】



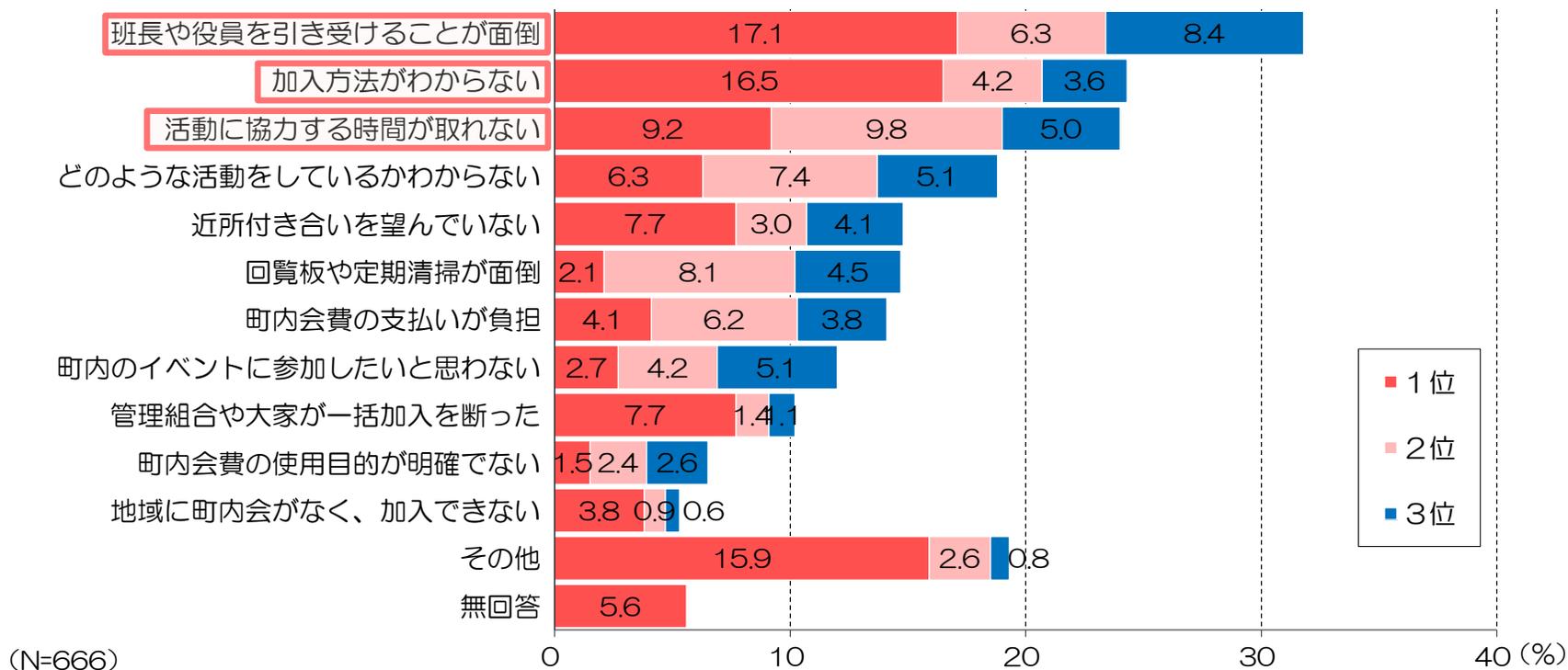
➤ 加入のデメリットは「特にない」が最も多い。

## 2.調査結果（ポイント）

### 市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

#### ④ 町内会・自治会への加入状況

町内会・自治会に加入しなかった理由【町内会のある地域】



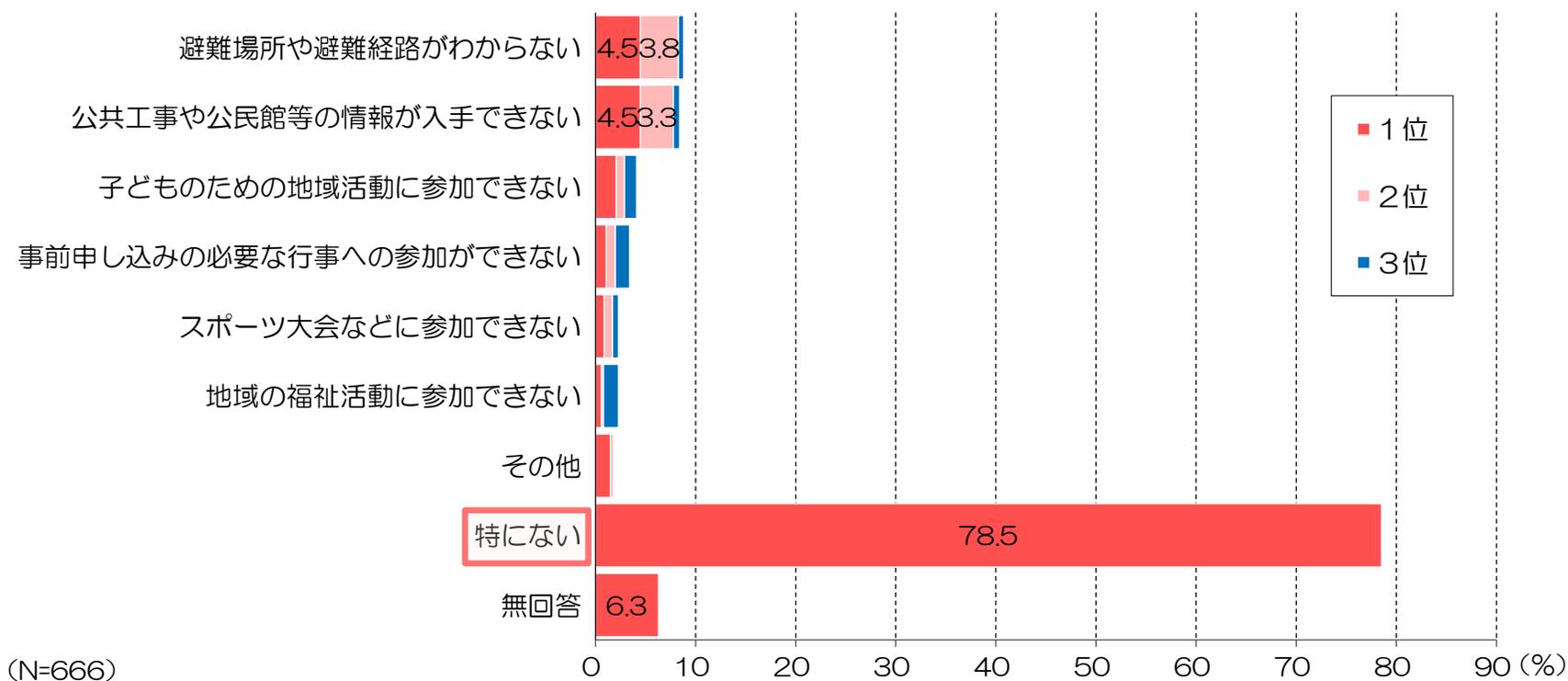
➤ 未加入理由は、「役員を引き受けるのが面倒」が最も多く、次いで「加入方法が分からない」、「活動に協力する時間が取れない」の順。

## 2.調査結果（ポイント）

### 市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

#### ④ 町内会・自治会への加入状況

町内会・自治会に加入していないことで困ったこと【町内会のある地域】



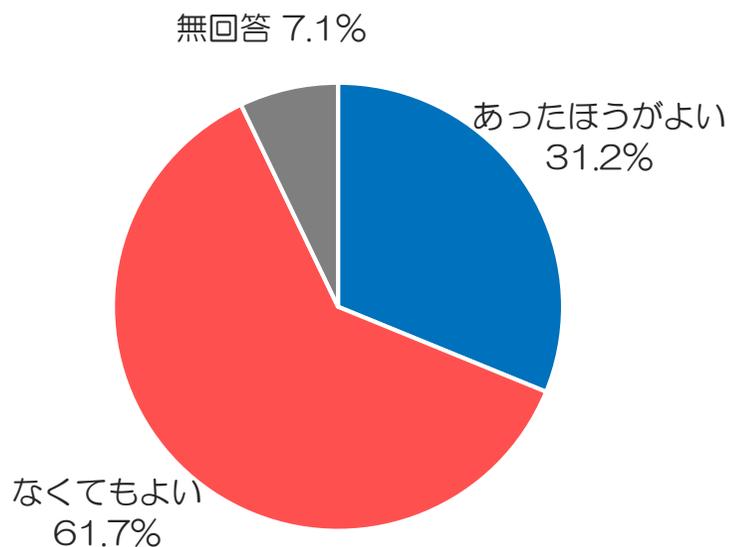
▶ 未加入で困ったことは「特になし」が約8割。

## 2.調査結果（ポイント）

### 市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

#### ④ 町内会・自治会への加入状況

自分の地域に町内会・自治会があるべきか【町内会のない地域】



N=439

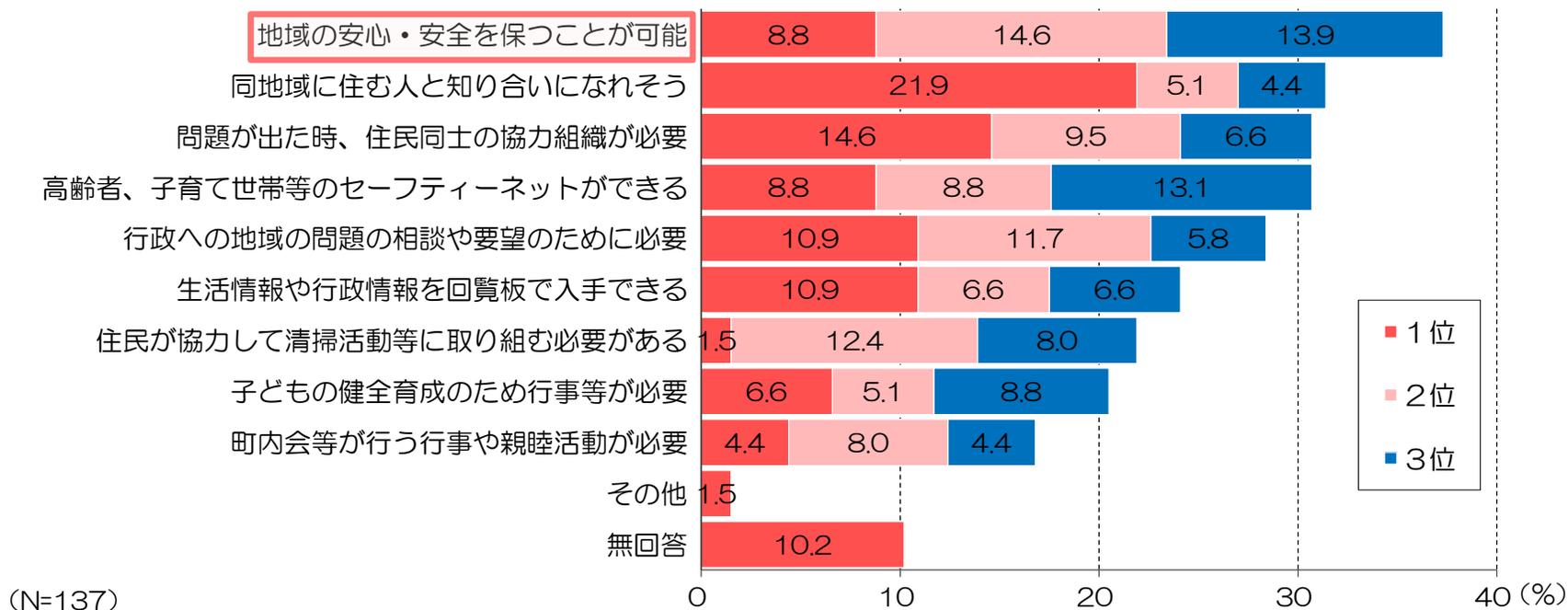
- 未結成区域では、約3割が「町内会・自治会がある方がよい」、約6割が「なくてもよい」と回答。

## 2.調査結果（ポイント）

### 市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

#### ④ 町内会・自治会への加入状況

町内会・自治会があった方が良い理由【町内会のない地域】



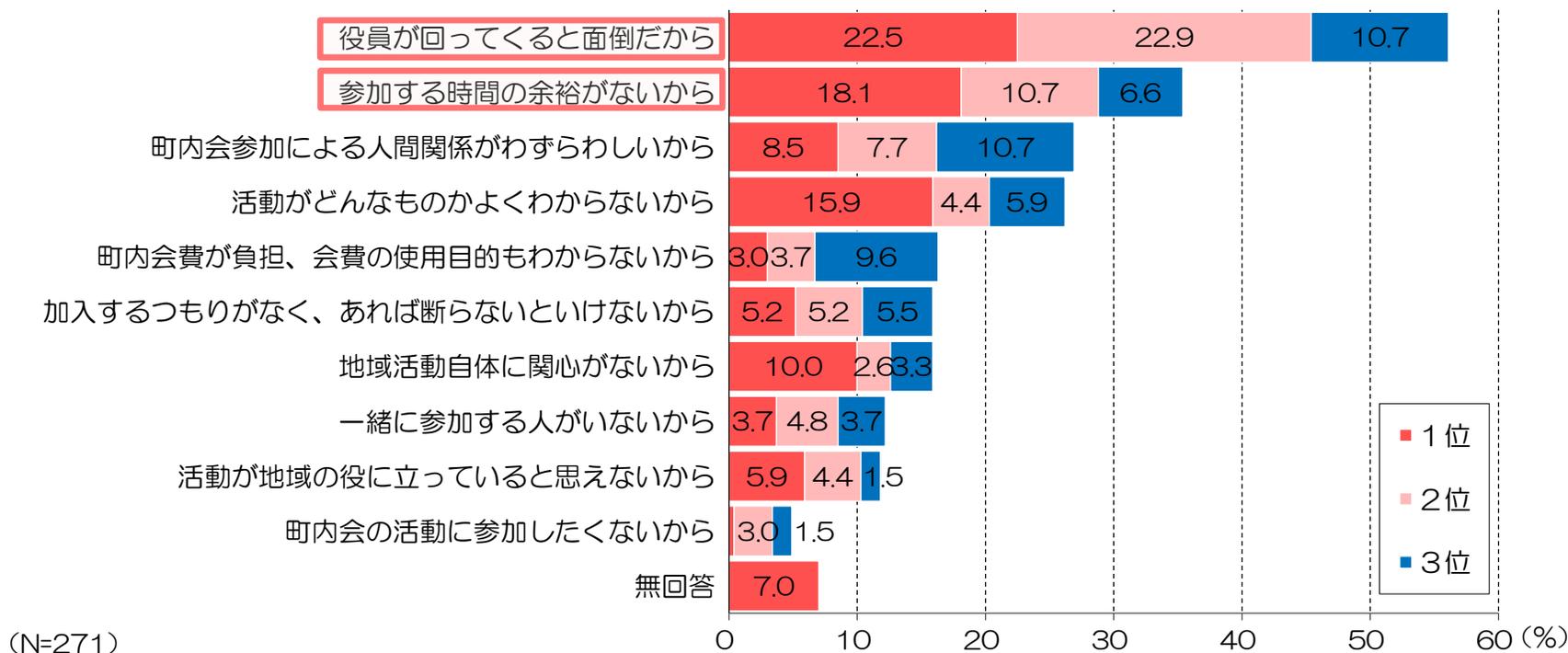
➤ 肯定する理由は、「地域の安全・安心が保たれる」が最も多く、次いで「知り合いができそうだから」。

## 2.調査結果（ポイント）

### 市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

#### ④ 町内会・自治会への加入状況

町内会がなくてもよい理由【町内会のない地域】



➤ 否定する理由は、「役員が回ってくると面倒」が6割弱と特に多く、次いで「時間の余裕がない」。

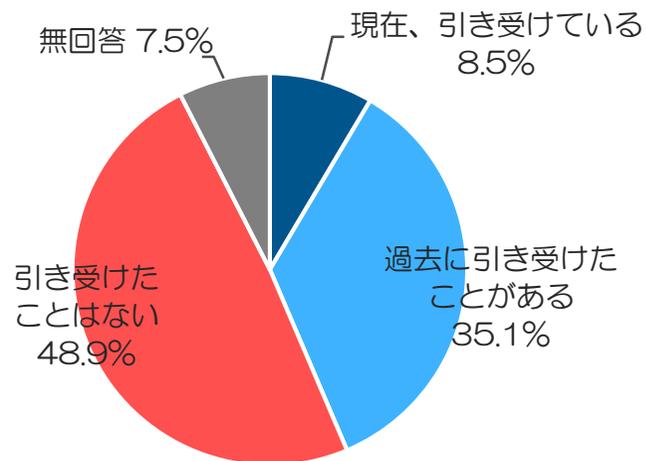
## 2.調査結果（ポイント）

### 市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

#### ⑤ 活動への協力（役員への意識）

町内会・自治会の役員を引き受けた経験の有無

【町内会のある地域】



N=2515

【町内会への加入の有無別】

	現在、引き受けている	過去に引き受けたことがある	引き受けたことはない
全体	8.5	35.1	48.9
加入している	12.0	45.7	38.4
加入していない	0.3	12.6	81.8

(注) 数字は、横合計に対する割合 (%)

➤ 加入者は町内会役員を引き受けた経験が4割強。一方、未加入者も1割ある。

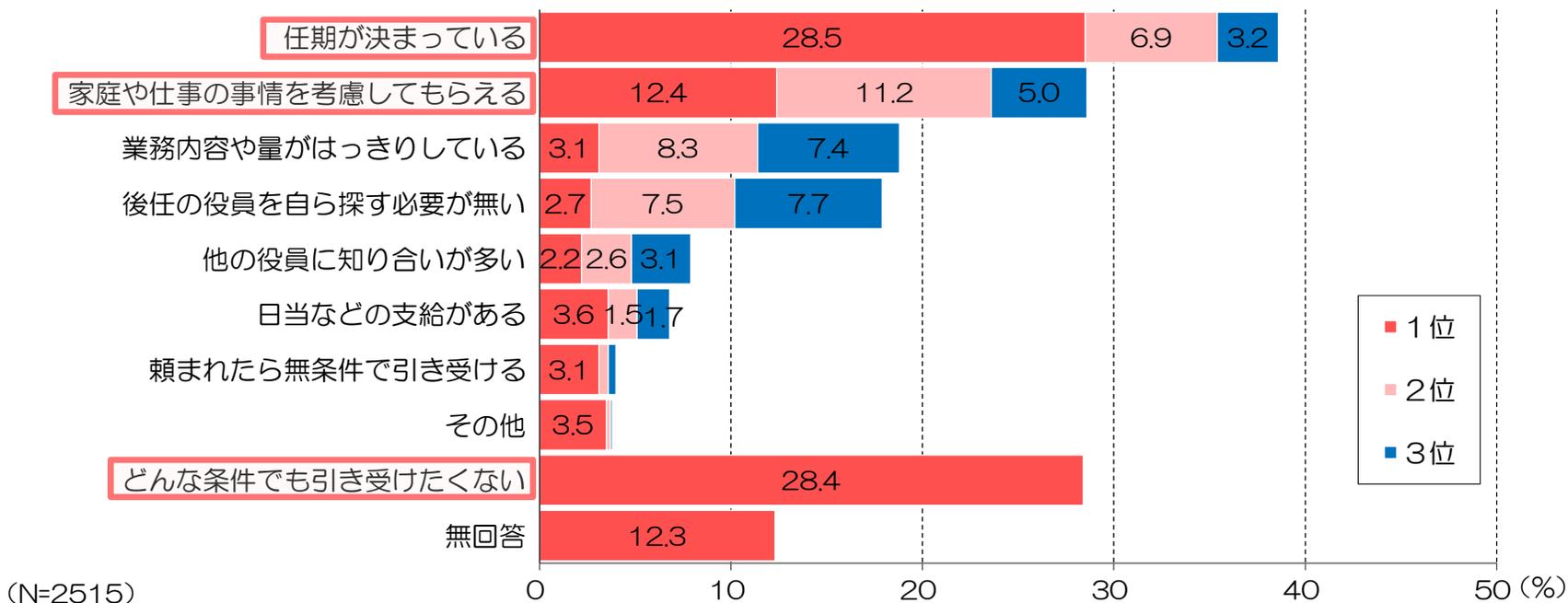
## 2.調査結果（ポイント）

### 市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

#### ⑤ 活動への協力（役員への意識）

町内会・自治会の役員を引き受けるための条件

【町内会のある地域】



➤ 「任期が決まっている」「会議や行事の出席が都合を考慮してもらえる」が多い。一方、「どんな条件でも引き受けたくない」が28%いる。

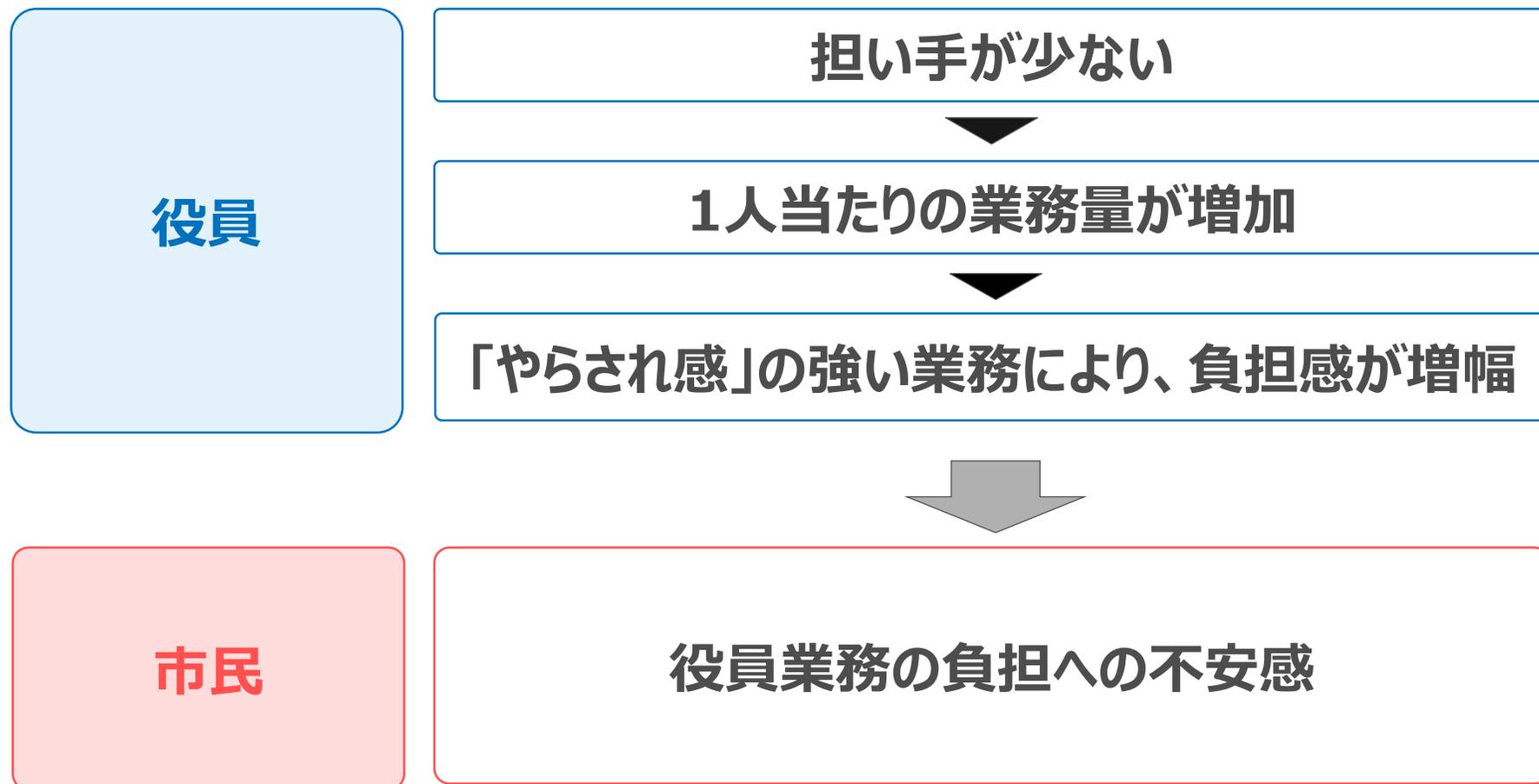
### 3. 調査結果から見た問題点

#### (1) 団体運営の問題点（何が活動・運営の支障になっているのか）

問題点	アンケートから
担い手不足	<p>【町内会・地域団体】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 役員の高齢化(町内会長は70代以上が5割強)</li><li>● 担い手不足が起きている（75.8%） ⇒原因は、「役員の負担が大きいと住民に思われている」（78.1%）</li></ul> <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 町内会に加入しない理由1位「役員になりたくないから」（31.8%）</li><li>○ 地域活動に参加していない理由1位「活動に参加する時間の余裕がない」（52.6%）</li></ul> <p>※自由意見：仕事・家庭が忙しく、<u>申し訳ないが</u>活動に協力できない。</p>
役員の負担大	<p>【町内会・地域団体】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 会長の平均兼務数（町内会長4.7役、地域団体の会長6.8役）</li><li>● 特に負担感の大きい仕事「会議の開催準備」「チラシの配布・回覧」</li></ul> <p>※自由意見：会長に業務が集中。日程調整や資料作りなどの段取りを全部やるのは大変。出席しなければならない会議が多すぎる。代理出席が頼めない。全部ひとりで決めている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 「やらされ感」が強く、「達成感」が少ない業務内容</li></ul> <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 町内会に加入して大変だったことの1位「班長の仕事が多い」（27.5%）</li></ul>

### 3. 調査結果から見た問題点

#### (1) 団体運営の問題点（何が活動・運営の支障になっているのか）



### 3. 調査結果から見た問題点

#### (2) 住民参画の問題点（なぜ住民は地域コミュニティへの参加を避けるのか）

問題点		アンケートから
団体・活動 の認識不足	町内会の役割 の周知不足 【行政】	<p>【町内会・地域団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民から「町内会加入のメリット」について聞かれる。（自由意見）</li> </ul> <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町内会に加入しないで困ったこと「特にない」（78.5%）</li> </ul>
	住民を呼び込 む活動(広報・ 加入促進活 動)の停滞	<p>【町内会・地域団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 特に加入促進を行っていない町内会も多い。 ⇒未加入者への加入促進「行う予定はない」（23.0%）</li> </ul> <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町内会の加入のきっかけ 1位「班長などが自宅を訪問」（35.1%）</li> </ul> <p>【町内会・地域団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報伝達や広報活動の課題 1位「回覧板が回るのが遅い」（34.4%） 2位「広報紙を作成する人がいない」（24.4%）</li> </ul>
参加意欲の減少		<p>【町内会・地域団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域に興味のない住民が増えている。⇒参加者減少理由1位（54.2%）</li> </ul> <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動に参加しない理由 2位「活動がどんなものかわからない」（36.0%） 3位「地域の活動に関心がないから」（34.3%）</li> </ul> <p>【町内会・地域団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民の関心が高い活動になっていない。⇒参加者減少理由3位（38.2%）</li> </ul> <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町内会活動について 1位「毎年同じような活動を続けている」（40.4%）</li> </ul>

### 3. 調査結果から見えた問題点

#### (2) 住民参画の問題点（なぜ住民は地域コミュニティへの参加を避けるのか）

行政

- 地域団体の役割や大切さをしっかり伝えられていない。

地域団体

- 住民参画を促す取組が十分に行えていない。

市民

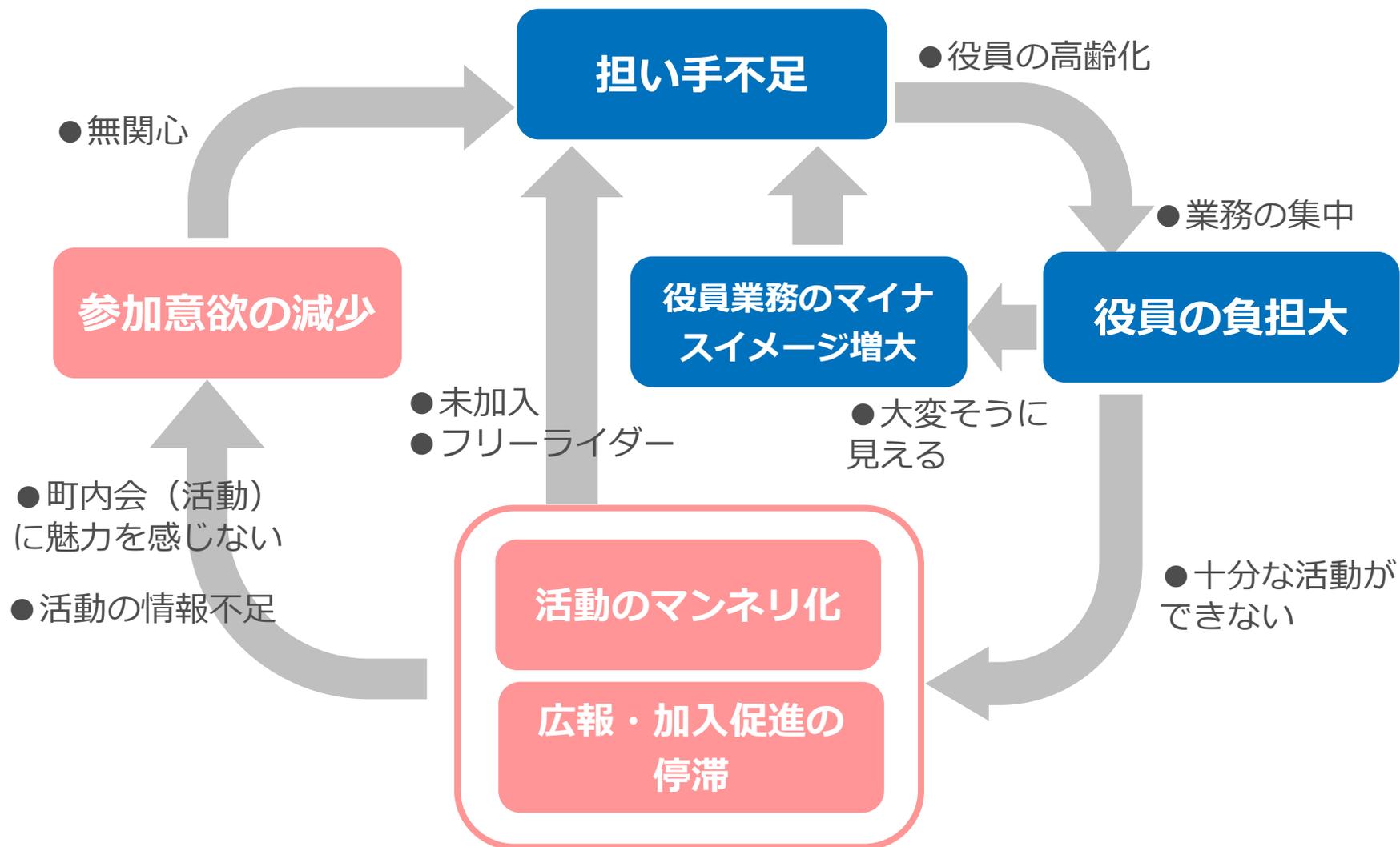
- 関係を持つとしない。
- 活動の成果への「ただ乗り（フリーライダー）」



○地域活動の意義の伝え方、  
「主体的に関わる意欲」の醸成が課題。

### 3. 調査結果から見た問題点

## 地域活動の負のスパイラル



### 3. 調査結果から見た問題点

#### もしも町内会が解散したら（解散町内会の元役員のヒアリングより）

祭りがないので寂しい

災害時に近所のつながりが  
ないので不安

近隣工事の騒音、  
粉塵の問題があっ  
たが、個人で対応  
させられた

災害訓練等の回覧が  
できない

解散時点の元役員で清掃  
活動をしているが、新し  
いメンバーが入らない

民生委員は対象者の情報が  
少なくなり、大変



解散地区の住民

### 3. 調査結果から見た問題点

#### もしも町内会が解散したら（解散町内会の元役員のヒアリングより）

「町内会がなくても困っていない」という意見もあり。でも・・・

- 「高齢者いきいき体操」や高齢者の見守り活動は、民生委員がやっている。
- 元役員がどうしても必要な回覧（「家庭ごみの出し方」など）をしている。
- 街灯が切れたら元役員が区役所に連絡する。
- 商工会青年部が花火を打ち上げた。

▼  
**地域を支える人がやっぱり存在している！**

**この続きは、パネルディスカッションで・・・**